Endeavor NJ3350E

ユーザーズマニュアル

Windows 7/Vista

電子の情報もご覧ください

PCお役立ちナビ p.4

コンピューターの操作方法や、トラブル時の対処方法など、本機に関する情報を簡単検索できるサポートツールです。
デスクトップ上のアイコンから起動します。

ご使用の前に

- コンピューターをご使用の際は、必ず「マニュアル」をよくお読みください。
- 「マニュアル」は、不明な点をいつでも解決できるように、すぐに取り出して見られる場所に保管してください。

情報マップ（知りたい情報はどこにある？）

本機に関する情報は、次の場所で見ることができます。

やりたいこと

購入時

- 本機の添付品を知りたい p.8
- 本機を設置したい p.10
- Windowsをセットアップしたい p.14
- 本機の仕様を知りたい p.90
- 添付されているソフトウェアを知りたい p.87

使いはじめ ～ 使いこなしたいとき

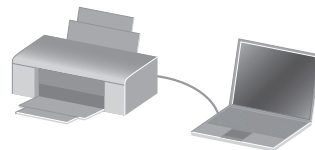
- インターネット/メールをしたい
- Windowsの操作方法を知りたい
- 用語を調べたい
- ソフトウェアの操作方法を知りたい
- 周辺機器（プリンター、デジタルカメラなど）を使いたい

- オプション製品（マウス、USB FDD、ソフトウェアなど）を使いたい

- CD/DVD、メモリーカード、Expressカードを使いたい

- 無線LANに接続したい（オプション）

- セキュリティー設定をしたい

- USB機器、eSATA対応機器を接続したい

- 画面表示やサウンドの設定をしたい
- 省電力で使いたい
- 消去禁止領域のデータをバックアップしたい
- BIOSの設定を変更したい
- HDD領域を変更したい

- メモリーを増設したい p.27
- データをバックアップしたい p.43
- 再インストール（リカバリー）をしたい p.37

困ったとき

- トラブルを解決したい p.63
- システム診断をしたい p.5, 80

故障したとき

- サポート・サービス情報を知りたい
- 修理を依頼したい

紙マニュアル
紙で添付されている情報です。

PC お役立ちナビ
コンピューターの画面で見る電子の情報です。

情報の場所

『ユーザーズマニュアル』(本書)

[お役立ち]

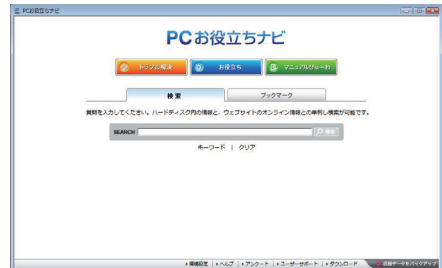
[マニュアルびゅーわ] –
「オプション製品のマニュアル」

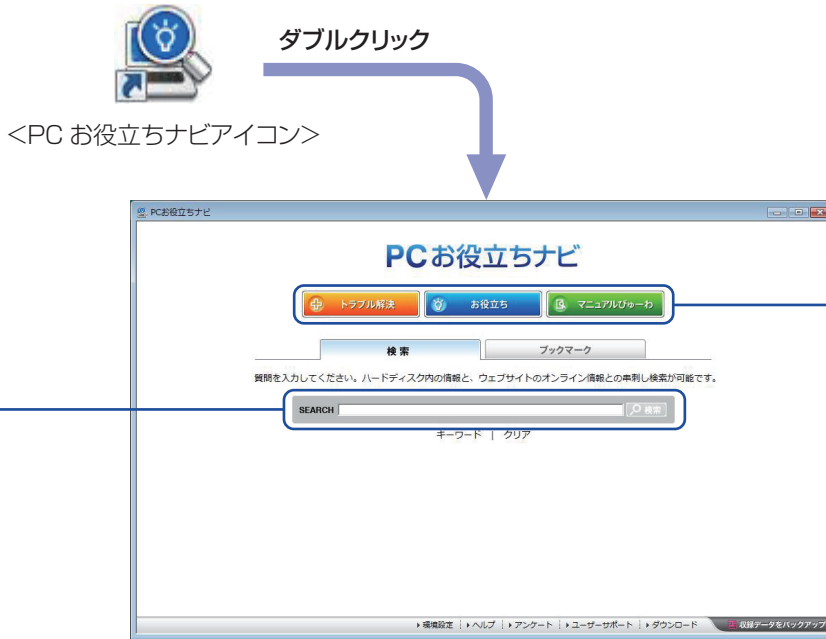
[マニュアルびゅーわ] –
「ユーザーズマニュアル 補足編」

『ユーザーズマニュアル』(本書)

[トラブル解決]

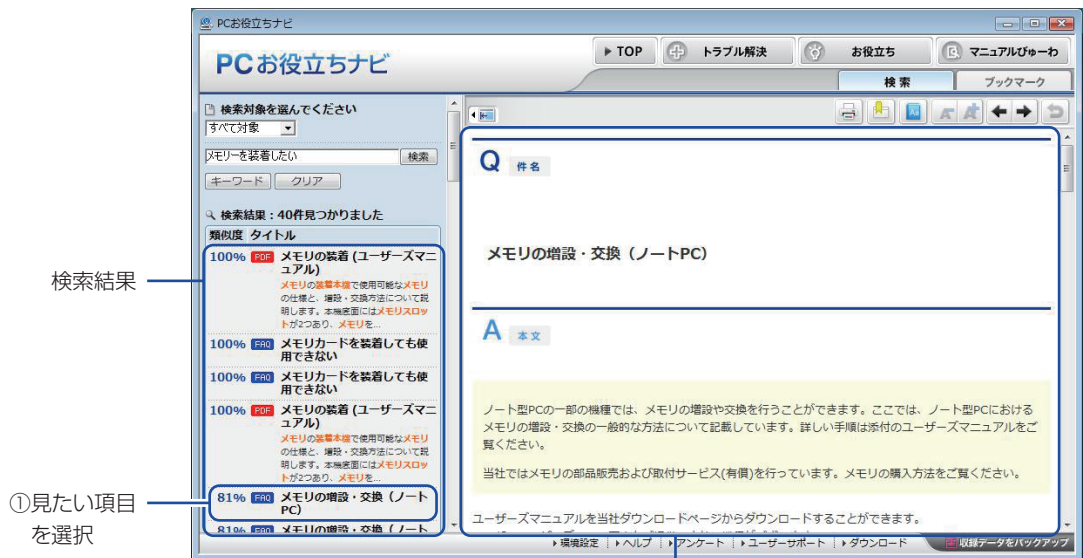
『サポート･サービスのご案内』

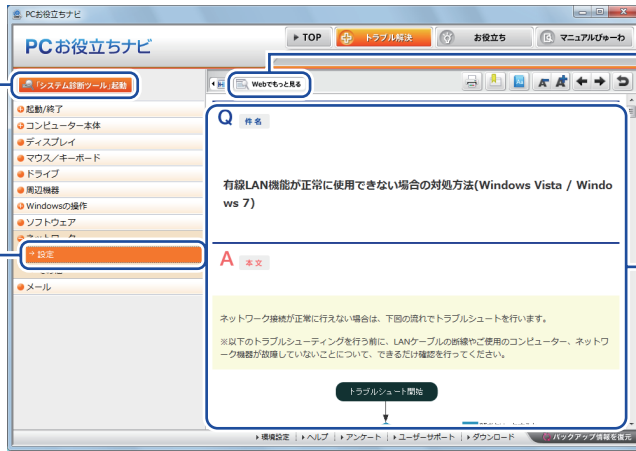
PCお役立ちナビ p.4

PC お役立ちナビを使う

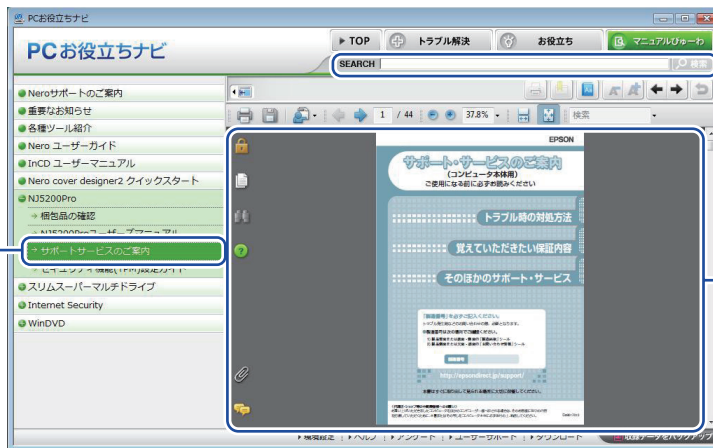
本機には、知りたい情報を簡単に検索できるサポートツール「PC お役立ちナビ」が搭載されています。困ったときや、役立つ情報を知りたいときなどにお使いください。

① 検索する

TOPページから検索実行

本機に収録されている情報+ユーザーサポートページのオンライン情報を一度に検索

※本機に収録されている情報 = サポートコンテンツ・マニュアル（PDF）・ヘルプなど
※インターネットに接続していない場合は、本機に収録されている情報のみを検索します。

② おすすめコンテンツ・マニュアルを見る

トラブル解決 トラブル解決に役立つ情報や、システム診断ツールを収録しています。

お役立ち コンピューターの便利な使い方や、役立つ情報を収録しています。

マニュアルびゅーわ コンピューターやオプション製品のマニュアル（PDF）を収録しています。

<画面はイメージです>

目次

1 購入時の作業

梱包品を確認する 8
コンピューターを設置する 10
Windows をセットアップする 14
セットアップ後の作業 19

2 装置の増設・交換

増設・交換できる装置 28
メモリーの装着 29
外付け可能な周辺機器 36

3 ソフトウェアの再インストール

再インストールの前に 38
Windows のインストール 42
ドライバー / ソフトウェアのインストール 51
再インストール後の作業 61

4 困ったときは

トラブルが発生したら 64
起動・画面表示できないときは 66
トラブル時に効果的な対処方法 72

付録

各部の名称 84
添付されているソフトウェア 87
機能仕様一覧 90
マニュアルの読み方 92
ユーザーサポートページ 97

購入時の作業

コンピューター購入時の作業について説明します。

梱包品を確認する.. 8
コンピューターを設置する 10
Windows をセットアップする 14
セットアップ後の作業... 19

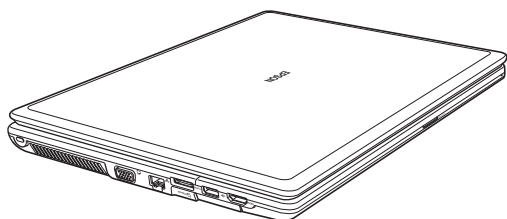
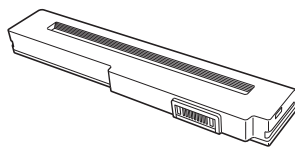
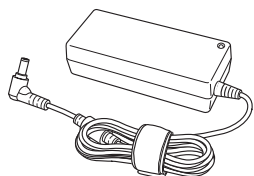
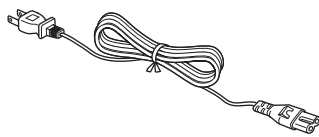
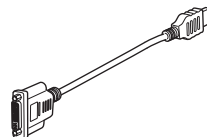
梱包品を確認する

はじめに梱包品がそろっているか確認します。万一、梱包品の不足や不良、仕様違いがありましたら、商品お届け後 8 日以内に受付窓口までご連絡ください。詳しくは、別冊『サポート･サービスのご案内』をご覧ください。

保証書について

当社では、ご購入日や保証サービスなどのお客様情報をデータベースで登録・管理しています。このため、保証書は添付されていません。

1 ハードウェアを確認する

ハードウェアがそろっているか、確認してください。

※ このほかにもオプション製品が添付されている場合があります。
オプション製品は納品書でご確認ください。

2 ディスクを確認する

ディスク類がそろっているか、確認してください。

□ Windows 7 リカバリー DVD
または Windows Vista リカバリー DVD（種類は購入時の選択による）

□ リカバリーツール CD

※ 本機のドライバーやソフトウェアのインストール用データは、HDD の消去禁止領域に収録されているため、ディスクは添付されていません。
※ このほかにもオプション製品のディスクが添付されている場合があります。

3 マニュアルを確認する

マニュアル類がそろっているか、確認してください。

冊子マニュアル

- □ ユーザーズマニュアル（本書）
- □ 安全にお使いいただくために
- □ サポート・サービスのご案内

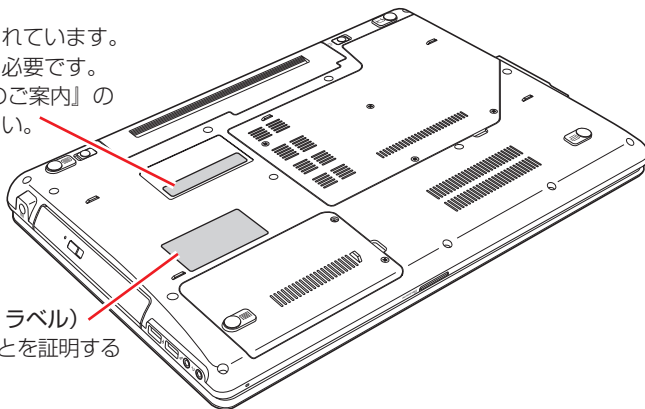
電子マニュアル p.5

- □ ユーザーズマニュアル 補足編（PDF）
- □ オプション製品のマニュアル（PDF）

※ このほかにも冊子や電子でマニュアルが添付されている場合があります。

4 貼付ラベルを確認する

本機に貼付されているラベルを確認してください。

ラベルは絶対にはがさないでください。

コンピューターを設置する

本機にバッテリーパックと AC アダプターを取り付け、使用できる状態にする手順を説明します。
プリンターなどの周辺機器は、Windows のセットアップ後に接続してください。

設置における注意

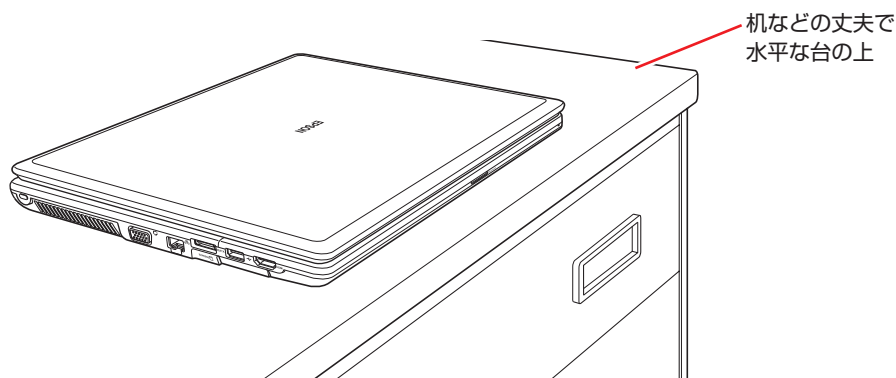
- 不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。
- 起動状態で本機の通風孔をふさがないでください。
  起動状態で通風孔をふさぐと、内部に熱がこもって本機が熱くなり、火傷や火災の原因となります。次の点を守ってください。
  - じゅうたんや布団の上に置かない。
  - 毛布やテーブルクロスのような布をかけない。
  - キャリングケースやバッグなどに入れない。
- ひざの上で長時間使用しないでください。本機底面が熱くなり、低温火傷の原因となります。

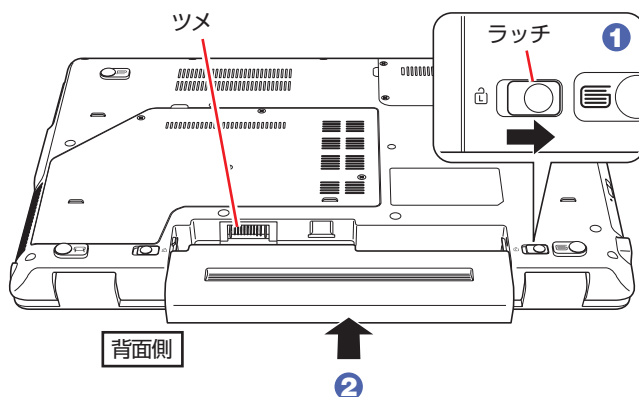
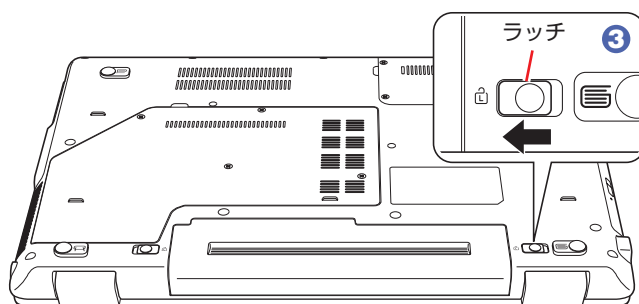
各種コードやバッテリーパック装着時の注意

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源コードのたこ足配線はしないでください。発熱し、火災の原因となります。家庭用電源コンセント（交流 100V）から電源を直接取ってください。
- 電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。取り扱いを誤ると、火災の原因となります。
  - 電源プラグは、ホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
  - 電源プラグは刃の先まで確実に差し込む。

各種コード（ケーブル）は、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。配線を誤ると、火災の危険があります。

1 本機を設置する場所を確保します。

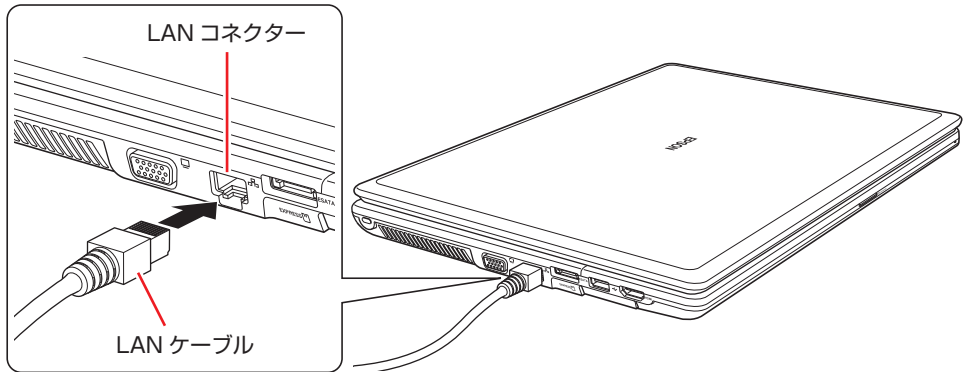
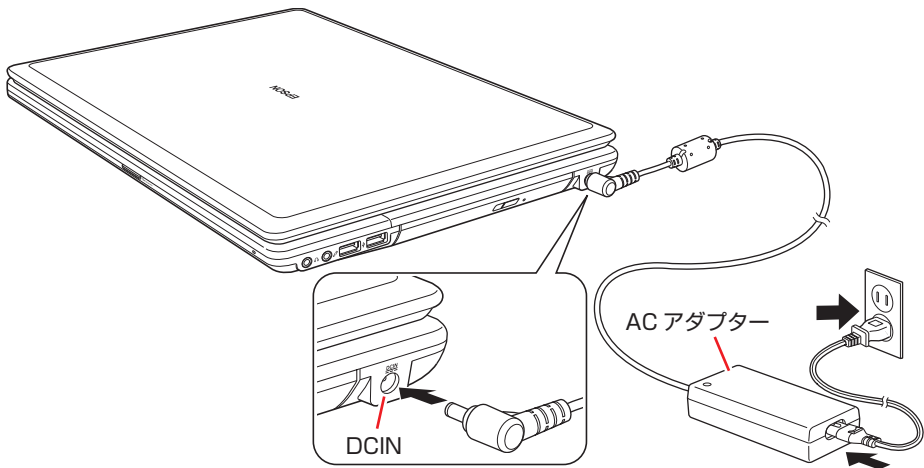
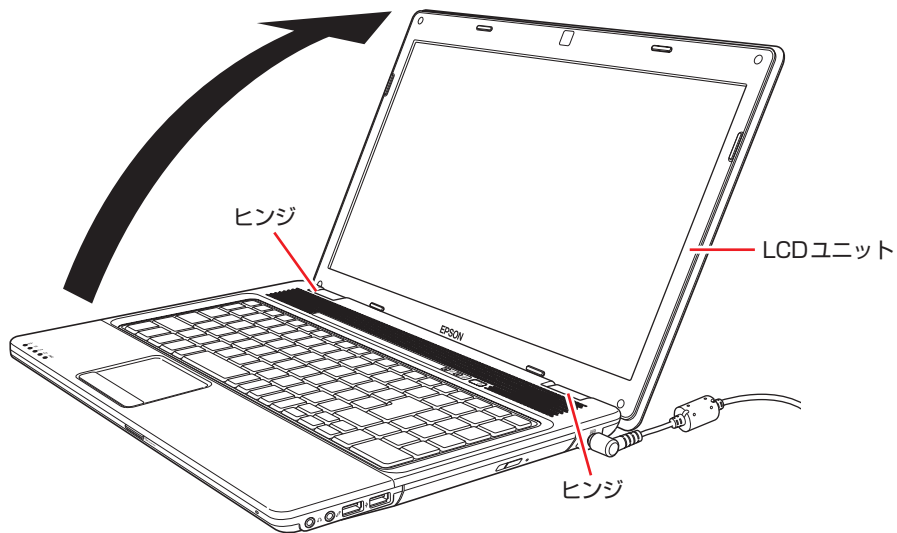
左側面および底面の通風孔をふさがないようにしてください。

2 底面を上にして置き、バッテリーパックを取り付けます。

1. 本機右側にあるラッチを、右に移動します。
2. バッテリーパックを本機に合わせ、矢印の方向に「カチッ」と音がするまで押し込みます。

3. 右側のラッチを、ロック位置（ ）に移動します。

出荷時にバッテリーパックは満充電状態ではありません。バッテリーパックだけで使用する場合は、使用前に充電が必要です。バッテリーパックを取り付けて、p.12 4 のとおりACアダプターを本機に接続すると充電されます。
詳しくは、次をご覧ください。

「PC お役立ちナビ」－［マニュアルびゅーわ］－「ユーザーズマニュアル補足編」－「AC アダプター / バッテリーパックを使う」

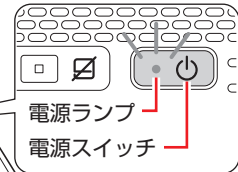
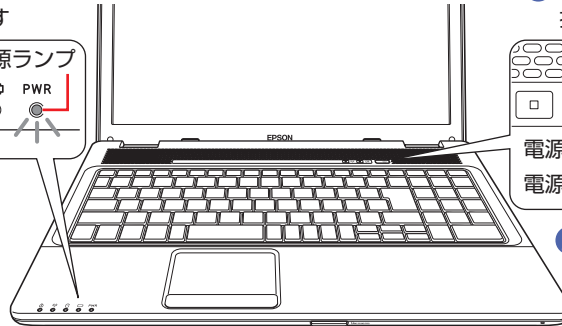
バッテリーパックの充電は、必ず動作環境（10 ～ 35 ℃）で行ってください。動作環境（10 ～ 35 ℃）以外では、正常に充電されません。

3 天面を上にして置きます。ネットワーク（有線 LAN）を使用する場合は、市販の LAN ケーブルを本機左側面の LAN コネクター（ 品 ）に接続します。

LAN ケーブルが抜けないように、しっかり差し込んでください。

4 本機右側面のコネクター（DCIN）に AC アダプターを接続します。

5 LCD ユニットを開きます。

LCD ユニットの開閉可能な最大角度は、およそ 135 度です。
最大角度を超えて LCD ユニットを開かないでください。ヒンジ部分が破損します。

続いて、Windows のセットアップを行います。

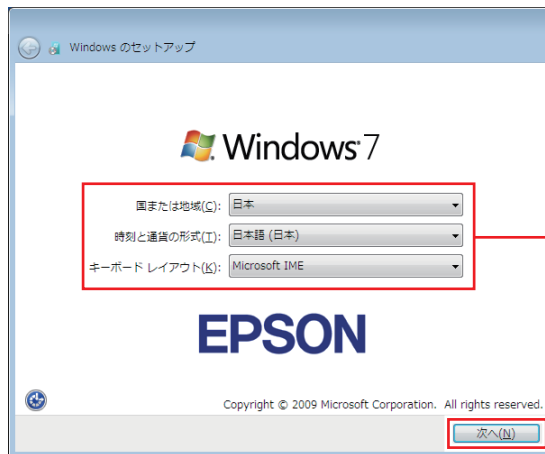
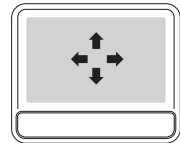
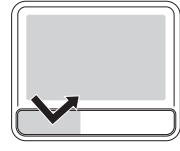
Windows をセットアップする

本機の電源を入れて、Windows を使用できる状態にするまでの手順を説明します。

1 電源を入れます。

画面に「EPSON」と表示され、しばらくすると Windows のセットアップ画面が表示されます。

電源が入らないときは

AC アダプターやバッテリーパックが正しく接続されているか確認してください。

2 セットアップを開始します。

セットアップは、タッチパッドを操作して行います。

<イメージ>

以下の手順は Windows の種類によって異なります。

- Windows 7 の場合 p.15
- Windows Vista の場合 p.16

Windows 7 の場合

新しいアカウントのユーザー名とコンピューター名を入力してください

ユーザー名、コンピューター名を入力し、［次へ］をクリックします。

※ コンピューター名は、本機をネットワーク（家庭内 LAN や社内 LAN）に接続して使用する場合などに必要です。

- ネットワークに接続しない場合は、セットアップ時にコンピューター名を変更する必要はありません。
- ネットワークに接続する場合は、ネットワーク上にあるほかのコンピューター名と重複しないように、コンピューター名を変更してください。

ユーザーアカウントのパスワードを設定します

パスワード（任意）を入力し、［次へ］をクリックします。

※ パスワードは必要に応じて入力してください。パスワードを設定すると、設定したユーザー名（アカウント）でログオン時にパスワードの入力が要求されます。パスワードを設定した場合は、絶対に忘れないようにしてください。

ライセンス条項をお読みになってください

画面に表示された条項を確認し、「ライセンス条項に同意します」（2 箇所）にチェックを付けて、［次へ］をクリックします。

コンピューターの保護と Windows の機能の向上

更新の設定をクリックして選択します。

「推奨設定を使用します」を選択することをおすすめします。

※「推奨設定を使用します」を選択すると、Windows Update が自動で行われるようになります。

日付と時刻の設定を確認します

「タイムゾーン」が「大阪、札幌、東京」になっていることを確認し、「日付」、「時刻」を設定して、［次へ］をクリックします。

ワイヤレスネットワークの接続（無線 LAN 搭載時のみ）

無線 LAN 機能（オプション）が有効になっている場合、表示されます。

設定は後で行うため、［スキップ］をクリックします。

お使いのコンピューターの現在の場所を選択してください

ネットワークに接続している場合、表示されます。使用する場所を選択します。

デスクトップ画面が表示されるまで、数分かかります。p.17

Windows Vista の場合

ライセンス条項をお読みになってください

画面に表示された条項を確認し、「ライセンス条項に同意します」にチェックを付けて、［次へ］をクリックします。

ユーザー名と画像の選択

ユーザー名、パスワードを入力し、画像を選択したら、［次へ］をクリックします。

※「パスワード」は必要に応じて入力してください。
パスワードを設定すると、設定したユーザー名（アカウント）でログオン時にパスワードの入力が要求されます。パスワードを設定した場合は、絶対に忘れないようにしてください。

コンピュータ名を入力してデスクトップの背景を選択してください

コンピュータ名を入力し、背景を選択したら、［次へ］をクリックします。

※「コンピュータ名」は、本機をネットワーク（家庭内 LAN や社内 LAN）に接続して使用する場合などに必要です。

- ネットワークに接続しない場合は、セットアップ時にコンピュータ名を変更する必要はありません。
- ネットワークに接続する場合は、ネットワーク上にあるほかのコンピュータ名と重複しないように、コンピュータ名を変更してください。

Windows を自動的に保護するよう設定してください

保護の設定をクリックして選択します。

「推奨設定を使用します」を選択することをおすすめします。

※「推奨設定を使用します」を選択すると、Windows Update が自動で行われるようになります。

時刻と日付の設定の確認

「タイムゾーン」が「大阪、札幌、東京」になっていることを確認し、「日付」、「時刻」を設定して、［次へ］をクリックします。

お使いのコンピュータの現在の場所を選択してください

ネットワークに接続している場合、表示されます。使用する場所を選択します。

ありがとうございます

［開始］をクリックします。

デスクトップ画面が表示されるまで、約 5 分かかります。

3 デスクトップが表示されます。

※ Windows Vista では、パスワードを設定した場合、パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力すると、デスクトップ画面が表示されます。

<イメージ>

続いて、初期設定ツールが起動します。

4 「初期設定ツール」が起動したら、画面に従って添付されているソフトウェアのインストールなどを行います。

画面の記載事項はすべてお読みください。スクロールバーのノブを一番下まで移動させて、すべての内容を表示させないと、[次へ] はクリックできません。

<イメージ>

これで本機を使用できます。

続いて、セットアップ後の作業を行います。

●ライセンス認証

購入時の本機にインストールされている Windows や、本機に添付されている Windows の「リカバリー DVD」から再インストールを行った Windows は、ライセンス認証を行う必要がありません。

●「初期設定ツール」が起動しないときは

初期設定ツールが自動的に起動しない場合や、初期設定ツールを再実行したい場合は、次の場所から起動することができます。

［スタート］－「すべてのプログラム」－「初期設定ツール」

●画面表示が消えたときは

本機は、一定時間操作をしないと省電力機能が働いて、画面表示が消えるように設定されています。画面表示が消えて電源ランプが点滅している場合は、スリープになっています。電源スイッチを押すか、キーボードを操作すると元に戻ります。

● Ctrl/Fn 、 Fn/Ctrl の初期状態

キーボード左下の 2 つの制御キーは、購入時、キー上部に印字されている文字（ Ctrl 、 Fn ）に設定されています。

●音量を調節する

次のキー操作で音量を調節できます。

キー操作	状態
Fn ＋ F10 🔊/🔇	一度押すとミュート（消音）になり、 もう一度押すとミュートが解除されます。
Fn ＋ F11 ▼🔈	音量が小さくなります。
Fn ＋ F12 ▲🔊	音量が大きくなります。

●画面の明るさを調節する

次のキー操作で画面の明るさを調節できます。

キー操作	状態
Fn ＋ F5 ☀	画面が暗くなります。
Fn ＋ F6 ☼	画面が明るくなります。

セットアップ後の作業

Windows のセットアップと初期設定ツールの設定が完了したら、次の作業を行います。

Windowsの操作方法を確認する

Windows の操作方法は、次の場所をご覧ください。

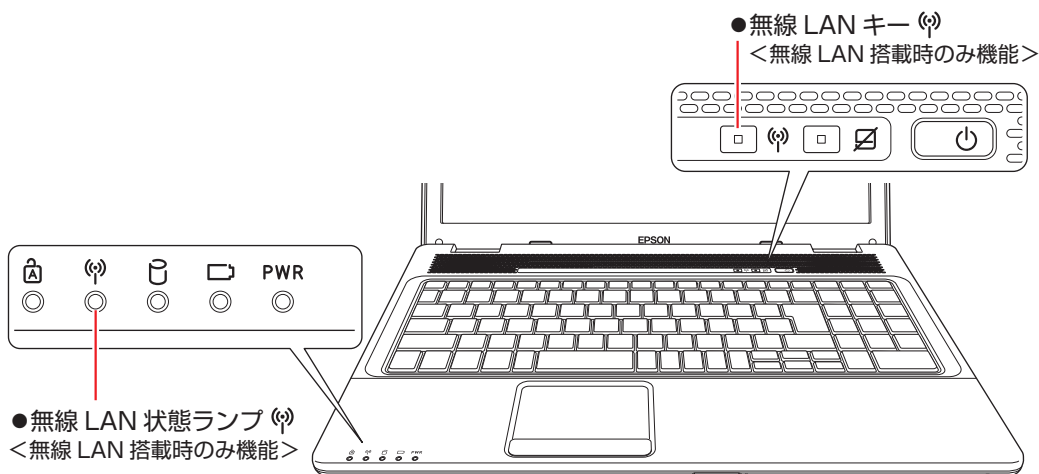
［スタート］ －「ヘルプとサポート」

「PC お役立ちナビ」 － ［お役立ち］

インターネットに接続する

インターネットへの接続は、プロバイダーから提供されたマニュアルを参照して行ってください。

無線 LAN 機能（オプション）を ON にする

購入時、本機の無線 LAN 機能（オプション）は OFF になっています。
無線 LAN を使用する場合は、無線 LAN キーで無線 LAN 機能を ON にします。
無線 LAN 機能の ON/OFF 状態は、無線 LAN 状態ランプ（ ）で確認できます。

無線 LAN 接続時のセキュリティー設定

無線 LAN に接続する際は、本機と無線 LAN アクセスポイントで、暗号化などのセキュリティー設定が必要です。

「PC お役立ちナビ」－［マニュアルびゅーわ］－「ユーザーズマニュアル 補足編」 － 「無線 LAN 接続の設定をする」

Web ページの閲覧

Web ページの閲覧には、「Internet Explorer」を使用します。
Internet Explorer の起動方法は、次のとおりです。

Windows 7 の場合

Internet Explorer

デスクトップ左下のアイコンから起動します。

<Internet Explorer アイコン>

Windows Vista の場合

Internet Explorer

次のどちらかの方法で起動します。

- [スタート] ー「インターネット」をクリック
- Fn + F2 （ ）を押す

セキュリティー対策

インターネットに接続する場合は、必ずセキュリティー対策を行ってください。

「PC お役立ちナビ」ー［マニュアルびゅーわ］ー「ユーザーズマニュアル 補足編」ー「インターネットを使用する際のセキュリティー対策」

「ユーザーズマニュアル補足編」では、以下のセキュリティー機能について記載しています。

●Windows Update

●セキュリティーソフトウェア（マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版）

●Web フィルタリングソフトウェア（i ーフィルター 30 日版）

メールを設定する

電子メールの利用には、次のソフトウェアを使用します。

●Windows Live メール（Windows 7 の場合）

●Windows メール（Windows Vista の場合）

Office をインストールしているときは

Office をインストールしている場合は、メールソフト Outlook を使用することもできます。
Outlook の使用方法は、Outlook のヘルプをご覧ください。

メールの使用方法

電子メールの起動方法は、次のとおりです。

Windows 7 の場合

Windows Live メールは、次のどちらかの方法で起動します。

- [スタート] ―「すべてのプログラム」―「Windows Live」―「Windows Live メール」をクリック
- Fn ＋ F3 （✉）を押す

初回起動時には、初期設定が必要です。

p.21「メールの初期設定」

Windows Vista の場合

Windows メールは、次のどちらかの方法で起動します。

- [スタート] ―「すべてのプログラム」―「Windows メール」をクリック
- Fn ＋ F3 （✉）を押す

初回起動時には、初期設定が必要です。

p.21「メールの初期設定」

詳しい使用方法は、各メールのヘルプや、次をご覧ください。

「PC お役立ちナビ」―［お役立ち］

メールの初期設定

メールの初回起動時、メールアカウントの初期設定を行う画面が表示されます。
画面の指示に従ってメールアドレスなどの情報を入力します。必要に応じて、契約したプロバイダーから提供されたマニュアルをご覧ください。

アカウントの追加や変更

Windows 7 の場合

Windows Live メールでは、電子メールアカウントの追加やアカウント情報の変更を「電子メールアカウントを追加する」画面で行います。
「電子メールアカウントを追加する」画面は、Windows Live メールの画面左側にある「無料・大容量 Hotmail 作成」をクリックすると表示されます。

Windows Vista の場合

Windows メールでは、次の場所から追加や変更を行います。

「ツール」メニュー ―「アカウント」―［追加］―「電子メールアカウント」

古いコンピューターからデータを移す

今までお使いのコンピューターのデータ（メールデータやアドレス帳、Internet Explorer のお気に入りなど）を本機へ移す方法は、次の場所をご覧ください。

Windows 7 の場合

「PC お役立ちナビ」－［お役立ち］－「カテゴリから選ぶ」－「Windows の操作」－「バックアップ」－「Windows XP/Windows Vista のデータを Windows 7 に転送する」

Windows Vista の場合

「PC お役立ちナビ」－［トラブル解決］－「Windows の操作」－「バックアップ」－「Windows Vista：ファイルや設定をバックアップする（Windows 転送ツール）」

ソフトウェアをインストールする

ソフトウェアを使用する場合は、ソフトウェアのマニュアルを参照してインストールを行ってください。

周辺機器を接続する

プリンターなどの周辺機器を使用する場合は、周辺機器のマニュアルを参照して接続を行ってください。

Windowsやソフトウェアをアップデートする

Windows やソフトウェアは、アップデートして最新の状態でお使いください。

※ アップデートをするにはインターネットへの接続が必要です。

●Windows

「PC お役立ちナビ」－［マニュアルびゅーわ］－「ユーザーズマニュアル 補足編」－「インターネットを使用する際のセキュリティー対策」

●そのほかのソフトウェア

別冊 ソフトウェアのマニュアル

Windows/ソフトウェアの状態を保存する

事前に Windows やソフトウェアの正常な状態を保存しておくと、なんらかの原因で Windows が起動しなくなった場合、Windows やソフトウェアを、保存時の正常な状態まで戻すことができます。
不具合発生時に回復できるように、Windows/ ソフトウェアの状態を保存しておくことをおすすめします。
保存方法は、次の場所をご覧ください。

Windows 7 の場合

「PC お役立ちナビ」ー［お役立ち］ー「カテゴリから選ぶ」ー「Windows の操作」ー「バックアップ」ー「「システムイメージの作成」を使ってバックアップを行う方法」

Windows Vista の場合

「PC お役立ちナビ」ー［トラブル解決］ー「Windows の操作」ー「バックアップ」ー「「Windows Complete バックアップ」を使ってバックアップを行う方法」

電源を切る

- HDD などのアクセスランプ点灯・点滅中に本機の電源を切ると、収録されているデータが破損するおそれがあります。
- 本機は、電源を切っていても、バッテリーパックが装着されていたり電源プラグがコンセントに接続されていると、微少な電流が流れています。本機の電源を完全に切るには、電源コンセントから電源プラグを抜き、バッテリーパックを取り外してください。

本機の電源を切る（シャットダウンする）方法は、次のとおりです。

Windows 7の場合

1 **［スタート］ー「シャットダウン」をクリックします。**

Windows が終了し、自動的に電源が切れます。

2 **接続している周辺機器の電源を切ります。**

Windows Vista の場合

1 **[スタート] ー [▷] ー「シャットダウン」をクリックします。**

Windows が終了し、自動的に電源が切れます。

2 **接続している周辺機器の電源を切ります。**

[⏻] をクリックしたときシャットダウンするように設定する

Windows Vista では、[スタート] ー [⏻] をクリックしたときシャットダウンするようにボタンの機能を変更することができます。
設定は次の場所で行います。

[スタート] ー「コントロールパネル」ー「システムとメンテナンス」ー「電源オプション」ー「プラン設定の変更」ー「詳細な電源設定の変更」ー「電源ボタンと LID」ー「[スタート] メニューの電源ボタンの操作」

シャットダウン時の注意

Windows を複数のユーザーが使用している状態で電源を切ろうとすると、「ほかの人がこのコンピューターにログオンしています。…」と画面に表示されます。
この場合は、[いいえ] をクリックし、ログオンしているすべてのユーザーをログオフしてからシャットダウンしてください。

次回電源を入れるときは

本機の電源を入れる際は、次の点に注意してください。

- 周辺機器の電源をいつ入れるかは、周辺機器のマニュアルで確認してください。電源を入れるタイミングがコンピューターより先か後かは、周辺機器により決まっています。
- 電源を入れなおすときは、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。電気回路に与える電気的な負荷を減らして、HDD などの動作を安定させます。

スリープにする

本機をスリープにすると、本機は低電力の状態になります。スリープからは、数秒で通常の状態に復帰することができます。
スリープについての詳しい説明は、次をご覧ください。

「PC お役立ちナビ」－［マニュアルびゅーわ］－「ユーザーズマニュアル 補足編」－「省電力機能」

本機をスリープにする方法は、次のとおりです。

Windows 7の場合

1 ［スタート］－［▷］－「スリープ」をクリックします。

Windows Vista の場合

1 ［スタート］－［⏻］をクリックします。

本機がスリープになります。画面表示が消え、電源ランプ（PWR）が点滅します。

ほかの方法でスリープにする
次の方法でも、本機をスリープにすることができます。
- 電源スイッチ（⏻）を押す
- Fn ＋ F1 （☾zz）を押す
- LCD ユニットを閉じる

復帰方法

復帰の際、周辺機器はスリープに入る前と同じ状態にしてください。
スリープ中に周辺機器を取り外すなどして状態が異なると、正常に復帰できない場合があります。

本機をスリープから復帰させる方法は、次のとおりです。

1 電源スイッチ（⏻）を押します。

本機が通常状態に復帰します。
キーボードを操作しても復帰できます。

装置の増設・交換

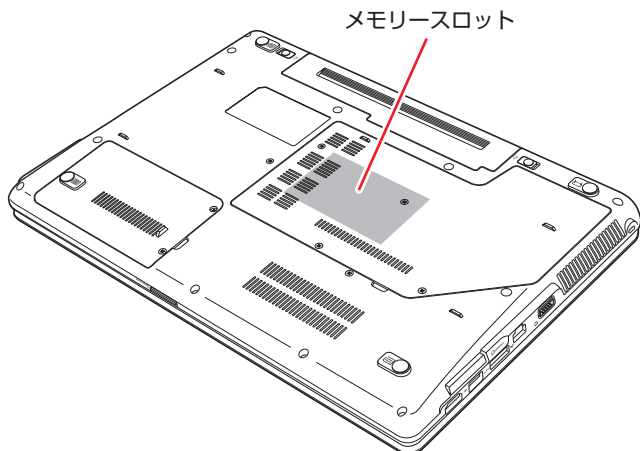
アップグレードサービスやメモリーの増設・交換方法、本機に接続できる装置について説明します。

増設・交換できる装置 28
メモリーの装着 29
外付け可能な周辺機器 36

増設・交換できる装置

本機では、お客様ご自身でメモリー（SODIMM）を増設・交換することができます。

制限　本機では、メモリー以外の装置をお客様ご自身で増設・交換することはできません。

メモリースロット

本機には、メモリースロットが底面に 2 本用意されています。
装着可能なメモリーの最大容量は、次のとおりです。

OS の種類	メモリーの最大容量
Windows 7 32 ビット版	最大4GB まで
Windows Vista	
Windows 7 64 ビット版	最大 8GB まで

p.29「メモリーの装着」

アップグレードサービス

当社では、本機をお預かりして装置の増設・交換を行うアップグレードサービスを有償で行っています。
本機では、次の装置のアップグレードサービスを利用できます。

- メモリー　　　　　：増設・交換
- 内蔵 HDD　　　　：交換
- 光ディスクドライブ：交換

アップグレードサービスをご希望の場合は、カスタマーサービスセンターにご相談ください。カスタマーサービスセンターの連絡先は、別冊『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。

メモリーの装着

本機で使用可能なメモリーの仕様と、増設・交換方法について説明します。

Windows 7 32 ビット版および Windows Vista の場合、本機に合計 4GB のメモリーを搭載しても、システム上利用できるメモリーの最大容量は約 3.4GB までです。

メモリーの仕様

本機で使用可能なメモリーは、次のとおりです。

●PC3-8500 SODIMM（DDR3-1066 SDRAM 使用）

●メモリー容量　1GB、2GB、4GB

●Non ECC

●204 ピン

●CL ＝ 5

最新メモリー情報

今後、新しいメモリーを取り扱う場合があります。
本機で使用可能な最新のメモリーは、当社ホームページで確認してください。
ホームページのアドレスは、次のとおりです。

http://shop.epson.jp/

メモリー装着の組み合わせ

本機はデュアルチャネルに対応しているため、同一容量のメモリーを 2 枚 1 組で装着すると、データ転送速度が最大になります。
メモリー装着の組み合わせとメモリーの動作は、次のとおりです。

メモリー装着の組み合わせ	メモリーの動作
同一容量のメモリー 2 枚	デュアルチャネルで動作。転送速度最大。
メモリー 1 枚	通常の転送速度で動作（シングルチャネル）。

作業時の注意

メモリーの増設・交換をする場合は、次の点に注意してください。

- メモリーの増設･交換をするときは、電源プラグをコンセントから抜いて、バッテリーパックを取り外してください。取り付けたまま作業をすると、感電や火傷の原因となります。
- 本機の分解・改造や、マニュアルで指示されている以外の増設・交換はしないでください。けが・感電・火災の原因となります。

- メモリーの増設・交換は、本機の内部が高温になっているときには行わないでください。火傷の危険があります。電源を切って 10 分以上待ち、本機の内部が十分冷めてから作業を行ってください。
- 不安定な場所（ぐらついた机の上や、傾いた所など）で、作業をしないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。

制限

- 作業を行う前に金属製のものに触れて静電気を逃がしてください。メモリーや本機に静電気が流れると、基板上の部品が破損するおそれがあります。
- 本機内部にネジや金属などの異物を落とさないでください。
- メモリーを持つときは、メモリーの端子部や素子に触れないでください。メモリーの破損や接触不良による誤動作の原因になります。
- 装着する方向を間違えないでください。メモリーが抜けなくなるなど故障の原因になります。
- メモリーを落とさないように注意してください。強い衝撃が、破損の原因になります。
- メモリーの着脱は、頻繁に行わないでください。必要以上に着脱を繰り返すと、端子部などに負担がかかり、故障の原因になります。

メモリーの増設･交換

メモリーの取り付け・取り外し手順は、次のとおりです。

取り付け

メモリーを取り付ける手順は、次のとおりです。

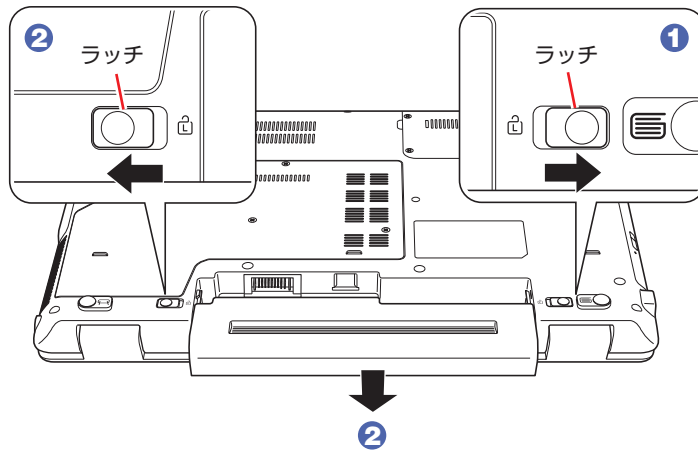
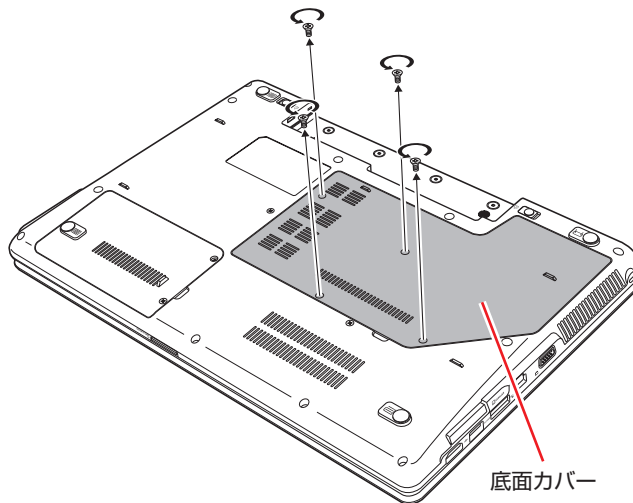
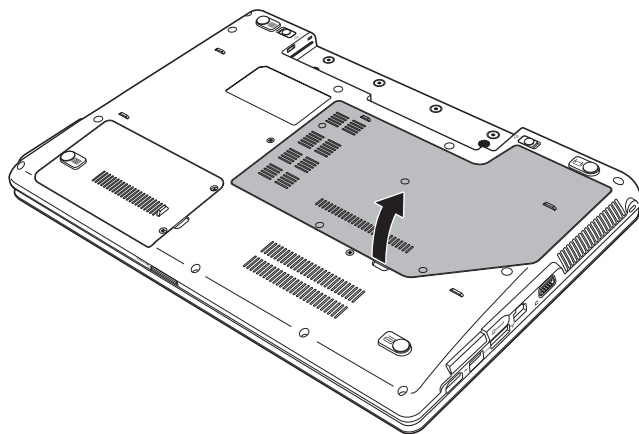
1 **本機の電源が入っている場合は、電源を切ります。**

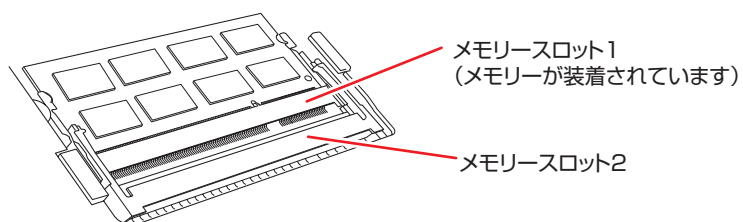
本機内部が冷えるまで、10 分以上放置してください。

2 **本機に接続しているケーブル類（AC アダプターなど）を、すべて外します。**

3 本機の底面を上にして置き、バッテリーを取り外します。

❶ 右側のラッチを右に移動します。

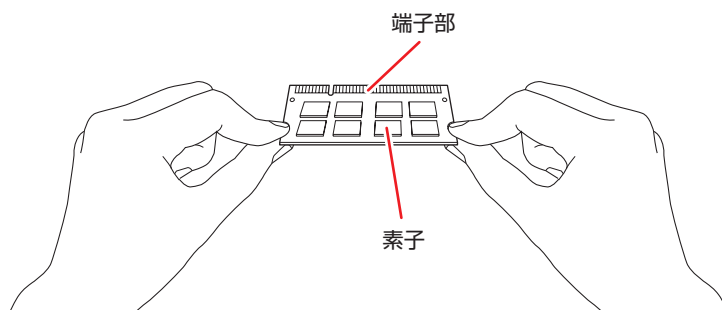
❷ 左側のラッチを左に移動した状態のまま、バッテリーを矢印の方向にスライドさせ、取り外します。

4 底面カバーのネジ（4 本）を外します。

5 底面カバーを矢印の方向に持ち上げて取り外します。

6 メモリースロット 2 の位置を確認します。

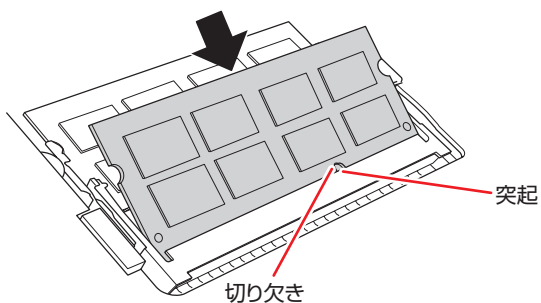
ここではメモリースロット 2 にメモリーを取り付ける手順を説明します。

メモリースロット 1 のメモリーを交換する際、メモリースロット 2 にメモリーが装着されているときは、メモリースロット 2 のメモリーを取り外してから作業を行ってください。

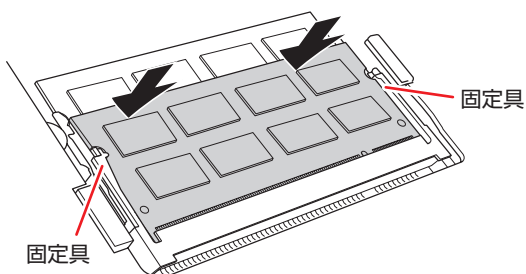
p.34「取り外し」

7 メモリーを取り付けます。

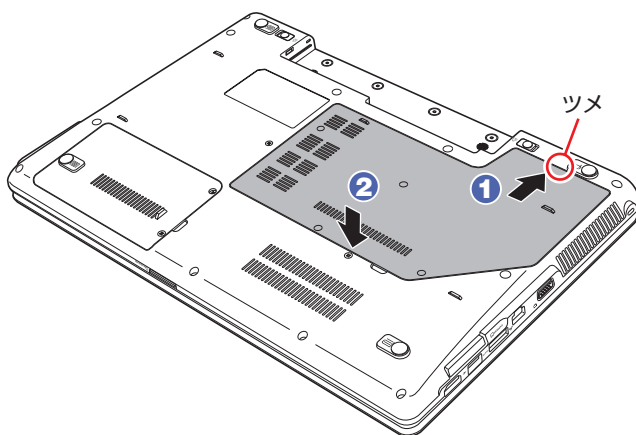
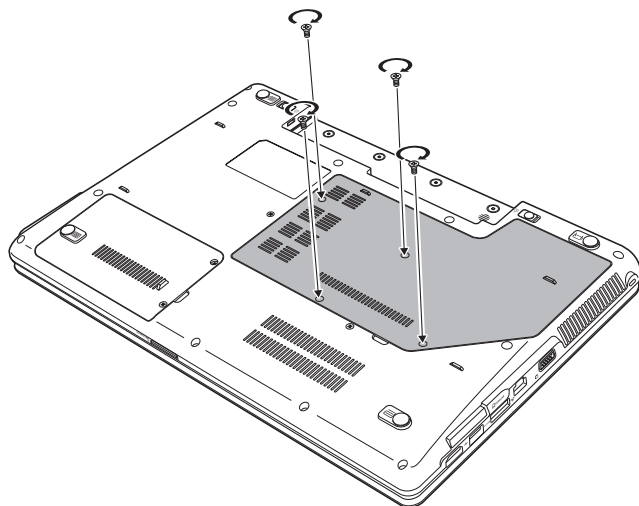
❶ メモリーを静電防止袋から取り出します。

メモリーの端子部や素子に触れないように持ちます。

❷ メモリーを、メモリースロット２に差し込みます。

切り欠きを突起に合わせ、メモリーを約 30 度の角度でメモリースロットに差し込みます。

❸ メモリーを静かに倒します。

正しく装着すると、「カチッ」と音がして両側の固定具で固定されます。

8 底面カバーを取り付けます。

❶ 底面カバーのツメを本体に合わせます。

❷ 底面カバーを押し込みます。

9 底面カバーをネジ（4 本）で固定します。

10 バッテリーを取り付けます。

p.11「コンピューターを設置する」2

11 本機の底面を下にして置きます。

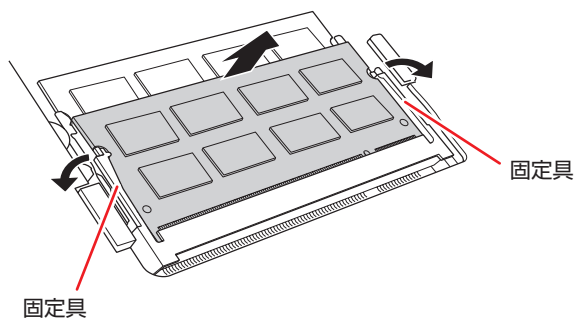
12 2 で取り外したケーブル類（AC アダプターなど）を接続します。

続いてp.35「増設・交換後の作業」を行います。

取り外し

メモリーの取り外しは、p.32「取り付け」の 6 ～ 7 を次の手順に読み替えて行ってください。ここでは、メモリースロット 2 のメモリーを取り外す手順を説明します。

1 メモリーの両側を固定している固定具を外側に広げます。

メモリーが起き上がります。

2 起き上がったメモリーの両端を持って静かに引き抜きます。

取り外したメモリーは、静電防止袋に入れて保管してください。

増設・交換後の作業

メモリーの増設・交換をしたら、メモリーが正しく取り付けられているかどうか、必ずメモリーの容量を確認します。
メモリー容量の確認方法は、次のとおりです。

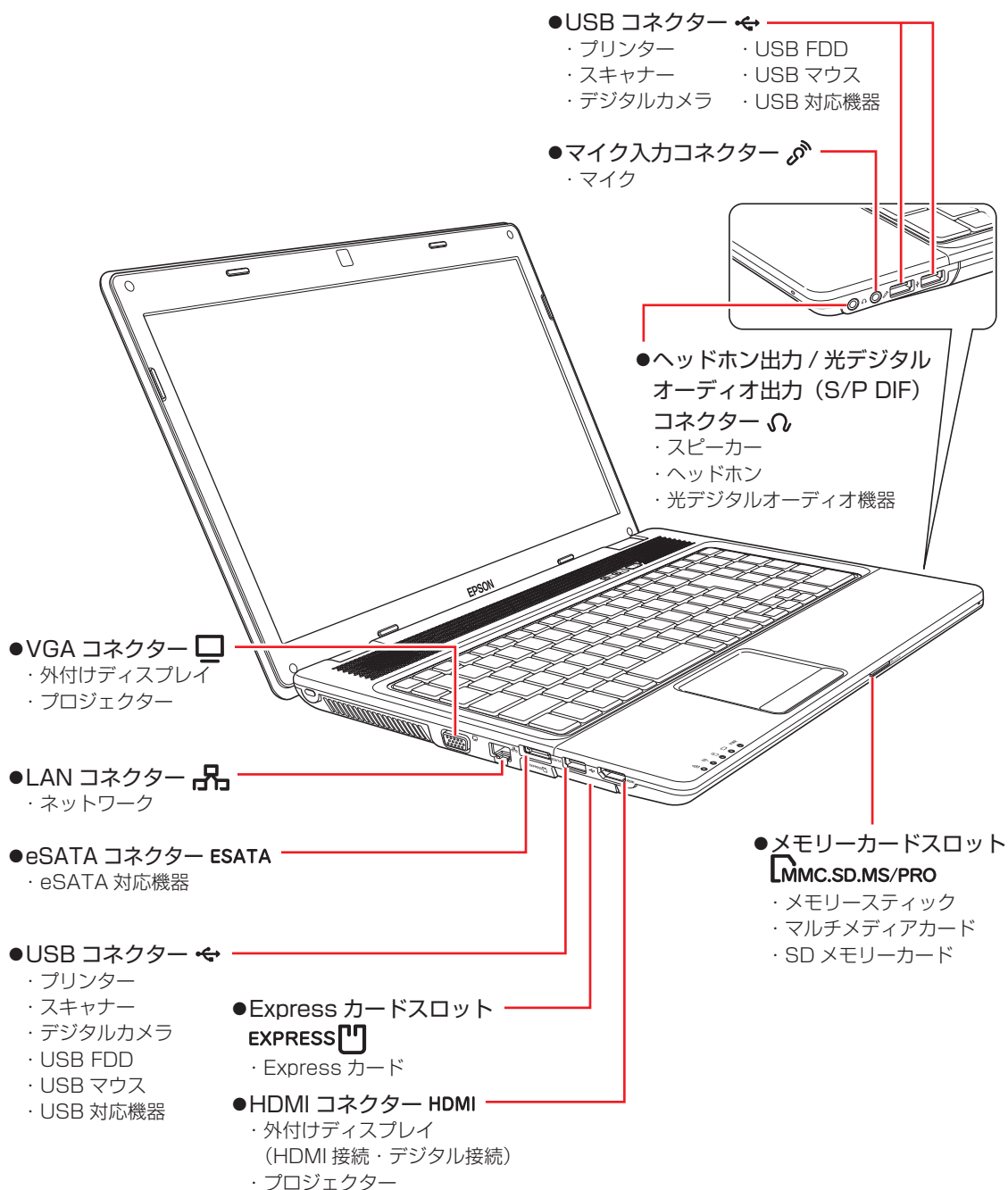
1 **本機の電源を入れて「EPSON」と表示されたら、すぐに F2 を「トン、トン、トン…」と連続的に押して「BIOS Setup ユーティリティー」を起動します。**

2 **「Main」メニュー画面－「System Memory」でメモリー容量を確認します。**

3 **F10 を押して BIOS Setup ユーティリティーを終了します。**

2 でメモリー容量が正しく表示されない場合は、メモリーが正しく取り付けられていないことが考えられます。すぐに電源を切り、メモリーを正しく取り付けなおしてください。

外付け可能な周辺機器

本機のスロットやコネクターには、次のような周辺機器を取り付けることができます。各コネクターへの接続方法は、本書または接続する周辺機器に添付のマニュアルをご覧ください。

そのほかの接続可能な周辺機器

本機では、ケーブルを介さずに次の機器が接続できます。

- 無線 LAN 対応機器（無線 LAN 搭載時のみ機能）

3 ソフトウェアの再インストール

ソフトウェアを再インストールする手順について説明します。

再インストールの前に 38
Windows のインストール 42
ドライバー / ソフトウェアのインストール 51
再インストール後の作業 61

再インストールの前に

ここでは、ソフトウェアの再インストールを行う前に必要な情報を記載しています。

再インストールとは

本書では、HDD をフォーマットして、Windows や本体ドライバーなどをインストールしなおす作業のことを、「再インストール」と記載します。
再インストールは「リカバリー」とも言います。

再インストールが必要な場合

再インストールは次のような場合に行います。通常は必要ありません。

- なんらかの原因で Windows が起動しなくなり、修復しても問題が解決できない場合
- HDD 領域の構成を変更したい場合

Windows を修復する

なんらかの原因で Windows が起動しなくなった場合は、再インストールを行う前に「Windows 回復環境」で Windows の修復を行ってみてください。再インストールをしなくても、問題が解決する場合があります。
p.77「Windows 回復環境（Windows RE）を使う」

Windows/ ソフトウェアの状態を復元する

事前に Windows/ ソフトウェアの状態を保存しておいた場合は、Windows やソフトウェアを、保存時の正常な状態まで戻すことができます。
※再インストールと同様、保存されているデータは消去されます。事前にバックアップを行ってください。

復元方法は、次の場所をご覧ください。

Windows 7 の場合

「PC お役立ちナビ」－［お役立ち］－「カテゴリから選ぶ」－「Windows の操作」－「バックアップ」－「「システムイメージの作成」のデータを復元する方法」

Windows Vista の場合

「PC お役立ちナビ」－［トラブル解決］－「Windows の操作」－「バックアップ」－「「Windows Complete バックアップ」のバックアップデータを復元する方法」

重要事項

再インストールする前に、次の重要事項を必ずお読みください。

当社製以外の BIOS へのアップデート禁止

当社製以外の BIOS へのアップデートは絶対にしないでください。当社製以外の BIOS にアップデートすると、再インストールができなくなります。

Web フィルタリングソフトウェアの継続利用

本機に添付の Web フィルタリングソフトウェア「ｉ－フィルター 30 日版」で継続利用手続きを行っている場合、Windows を再インストールすると利用期限が 30 日に設定されてしまいます。
この場合は、デジタルアーツ社のホームページから最新版を入手し、契約済みのシリアル ID を利用してインストールを行ってください。
詳細は、デジタルアーツ社にお問い合わせください。

http://www.daj.jp/cs/support.htm

最新の情報

インストール方法に関する最新情報を記載した紙類が添付されている場合があります。梱包品を確認して、紙類が添付されている場合は、その手順に従って作業を進めてください。

必要なメディア

再インストールには、次のメディアが必要です。

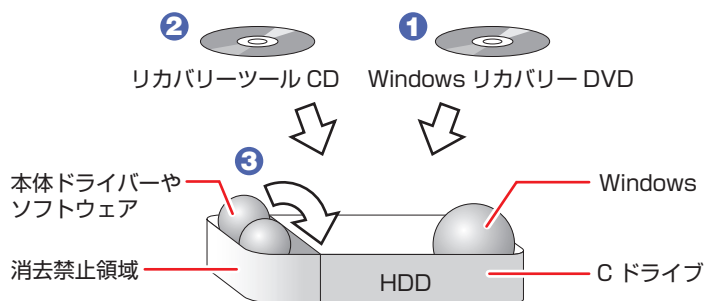
- **Windows 7 リカバリー DVD**
  または Windows Vista リカバリー DVD（以降、Windows リカバリー DVD）
  Windows が収録されています。

- **リカバリーツール CD**
  本体ドライバーやソフトウェアを、HDD の「消去禁止領域」からインストールするためのプログラムが収録されています。

- **そのほか必要なメディア**
  お使いのシステム構成によって必要なメディアは異なります。

本体ドライバーやソフトウェアは、HDD の消去禁止領域に収録されているため、専用のメディアは添付されていません。
p.87「添付されているソフトウェア」

再インストールの概要

ソフトウェア再インストールの概要は、次のとおりです。

❶ Windows リカバリー DVD から、Windows をインストールします。

❷ リカバリーツール CD から、リカバリーツールをインストールします。

❸ リカバリーツールを使用して、HDD の消去禁止領域に収録されている本体ドライバーやソフトウェアをインストールします。

インストールの順番

再インストールは、次の順番で行います。
購入時のインストール状態は、p.87「添付されているソフトウェア」で確認してください。

必ずインストールするソフトウェア

❶ Windows（Windows 7 Ultimate/Professional の場合、Windows XP Mode 含む）

❷ リカバリーツール

❸ 本体ドライバー

❹ Adobe Reader

❺ Windows Live Suite（Windows 7 のみ）

❻ Internet Explorer 8（Windows Vista のみ）

❼ セキュリティーソフトウェア

❽ WinDVD

❾ Nero 9 Essentials（書き込み機能のある光ディスクドライブ搭載時）

必要に応じてインストールするソフトウェア

❶ WDLC フォトガジェット（Windows 7 のみ）

❷ Web フィルタリングソフトウェア

❸ ATOK 無償試用版（30 日間）

インストール作業における確認事項

再インストールを始める前に、下記の点をご確認ください。

●インストール全般

インストール作業は、AC アダプターを接続して行ってください。

●管理者（Administrator）のアカウントでログオン

インストール作業は、管理者（Administrator）のアカウントでログオンして行ってください。

●システム構成

本章のインストール手順は、購入時のシステム構成を前提にしています。インストールは、BIOS の設定とシステム構成を購入時の状態に戻して行うことをおすすめします。

●ドライブ名

本章の説明では、ドライブ構成が次のようになっているものとします。
実際の光ディスクドライブのドライブ名は、HDD 領域の数によって異なります。

C ドライブ：HDD

D ドライブ：光ディスクドライブ

●各種設定やデータのバックアップ

再インストールを行うと、設定した事項が元に戻ってしまったり、データが消去されたりします。再インストールを行う前に必要に応じて設定を書き写したり、データのバックアップを行っておいてください。

p.43「バックアップを取る」

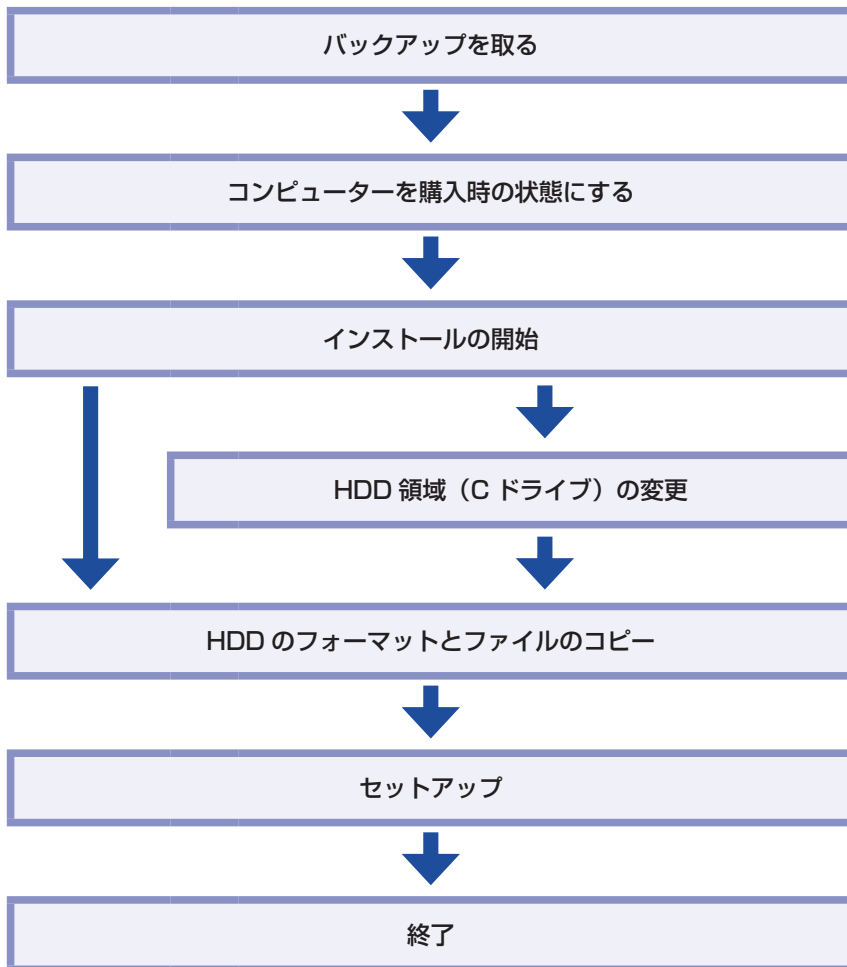
●初期設定ツール

初期設定ツールは、Windows を再インストールすると消去されます。初期設定ツールでインストールしたソフトウェアは、以降で説明する手順に従ってインストールを行ってください。

Windows のインストール

ここでは、Windows の再インストール方法について記載しています。

インストールの流れ

Windows のインストールの主な流れは次のとおりです。

HDD 領域（C ドライブ）を変更するには

Windows のインストール中に C ドライブ（Windows がインストールされている領域）のサイズを変更したり、分割したりすることができます。
HDD 領域の変更や、分割についての詳しい説明は、次をご覧ください。

「PC お役立ちナビ」－［マニュアルびゅーわ］－「ユーザーズマニュアル 補足編」－「HDD 領域（ドライブ）の分割・変更・作成」

バックアップを取る

C ドライブの設定やデータは、Windows の再インストールを行うと消えてしまいます。再インストールの前に、次の設定やデータのバックアップを行ってください。*

●ネットワークの設定

接続に関する設定を書き写しておいてください。

●Internet Explorer の「お気に入り」・Windows（Live）メールの「アドレス帳」やメールデータ

Windows 7 の場合

「PC お役立ちナビ」－［お役立ち］－「カテゴリから選ぶ」－「Windows の操作」－「バックアップ」－「Windows 転送ツールを使う」

Windows Vista の場合

「PC お役立ちナビ」－［トラブル解決］－「Windows の操作」－「バックアップ」－「Windows Vista：ファイルや設定をバックアップする（Windows 転送ツール）」

このほかの Web 閲覧ソフトやメールソフトをお使いの場合は、ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

●そのほか重要なデータ

* 再インストール中に HDD 領域の変更を行うと、C ドライブ以外のドライブ（D や E など）のデータも消えてしまいますので、バックアップを行ってください。
HDD 領域の変更を行わない場合でも、念のためバックアップを取ることをおすすめします。

コンピューターを購入時の状態にする

マウスなどの周辺機器が接続されていたり、BIOS の設定値が変更されていたりすると、正常にインストールが行われない可能性があります。本機を購入時の状態に戻してから再インストールを行ってください。

インストール手順

インストール手順は、Windows の種類によって異なります。

- Windows 7 の場合：p.44「Windows 7 のインストール」
- Windows Vista の場合：p.47「Windows Vista のインストール」

Windows 7 のインストール

Windows 7 のインストール方法は、次のとおりです。
Windows 7 Ultimate/Professional の場合、Windows XP Mode も同時にインストールされます。

1 **本機の電源を入れ、「Windows 7 リカバリー DVD」を光ディスクドライブにセットします。**

「自動再生」画面が表示されたら、[×] をクリックし、画面を閉じてください。
ここからはインストールを行いません。

2 **［スタート］ － ［▷］ － 「再起動」をクリックして、本機を再起動します。**

3 **「EPSON」と表示後、黒い画面に「Press any key to boot from CD or DVD.」と表示されたら、どれかキーを押します。**

一定時間内にキーを押さないと、HDD 内の Windows が起動してしまいます。Windows が起動してしまった場合は、2 へ戻ります。

4 **「システム回復オプション」画面が表示されたら、［次へ］をクリックします。**

5 **オペレーティングシステムの一覧画面が表示されたら、「Windows の起動に伴う…」を選択し、［次へ］をクリックします。**

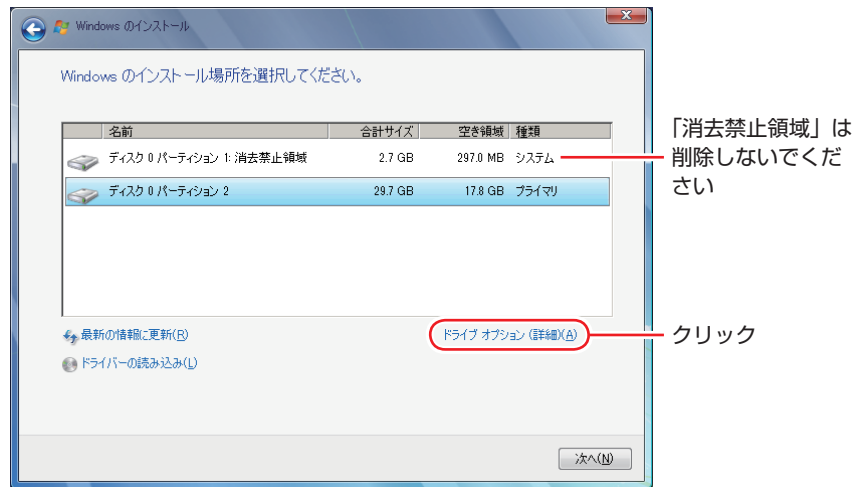
6 **「回復ツールを選択してください」と表示されたら、「Windows の再インストール」をクリックします。**

7 **「インストールを開始しますか？」と表示されたら、［はい］をクリックします。**

8 **「インストールするオペレーティングシステムを選択してください」と表示されたら、［次へ］をクリックします。**

9 **「ライセンス条項をお読みください。」と表示されたら、内容を確認し、「同意します」にチェックを付けて、［次へ］をクリックします。**

10 「Windows のインストール場所を選択してください。」と表示されたら、「ドライブオプション（詳細）」をクリックします。

※「消去禁止領域」には、ドライバーやソフトウェアの再インストール用データが収録されています。絶対に削除しないでください。

<イメージ>

場合によって、次のとおり作業を続けます。

領域変更を行わない場合（通常）

1. 「ディスク 0 パーティション 2」（C ドライブ）が選択された状態で「フォーマット」をクリックします。
2. 「パーティションには…」と表示されたら、［OK］をクリックします。

   フォーマットが開始されます。
3. フォーマットが終了すると、［次へ］がクリックできる状態になります。
   「ディスク 0 パーティション 2」（C ドライブ）が選択された状態で［次へ］をクリックします。

   Windows のインストールが開始されます。システム構成にもよりますが、インストールは 20 分～ 40 分かかります。
   11 の画面が表示されるまでキーボードやタッチパッドは操作しないでください。

領域変更を行う場合

1. 「ディスク 0 パーティション 2」（C ドライブ）が選択された状態で「削除」をクリックします。
2. 「パーティションには…」と表示されたら、［OK］をクリックします。

   削除したパーティション（C ドライブ）が「未割り当て領域」となります。
3. 場合によって、次のとおり作業を続けます。

C ドライブを分割したい場合

（1）「ディスク 0 未割り当て領域」を選択し、「新規」をクリックします。

❹ に進みます。

C ドライブの容量を増やしたい場合

すでに HDD が分割されている場合は、C ドライブ以外のドライブを削除して未割り当ての領域を増やします。ただし、削除したドライブのデータは消えてしまいます。

（1）消去禁止領域以外の、そのほかのパーティションを C ドライブと同様に削除し、「ディスク 0 未割り当て領域」を増やします。

（2）「ディスク 0 未割り当て領域」を選択し、「新規」をクリックします。

❹ に進みます。

❹ C ドライブのサイズを決めます。サイズを入力し、「適用」をクリックします。

C ドライブには、40GB（40000MB）程度を割り当てることをおすすめします。

❺「ディスク 0 パーティション 2」（C ドライブ）が選択された状態で、[次へ] をクリックします。

Windows のインストールが開始されます。システム構成にもよりますが、インストールは 20 分～ 40 分かかります。

11 の画面が表示されるまでキーボードやタッチパッドは操作しないでください。

11 「新しいアカウントのユーザー名と…」と表示されたら、ユーザー名、コンピューター名を入力し、[次へ] をクリックします。

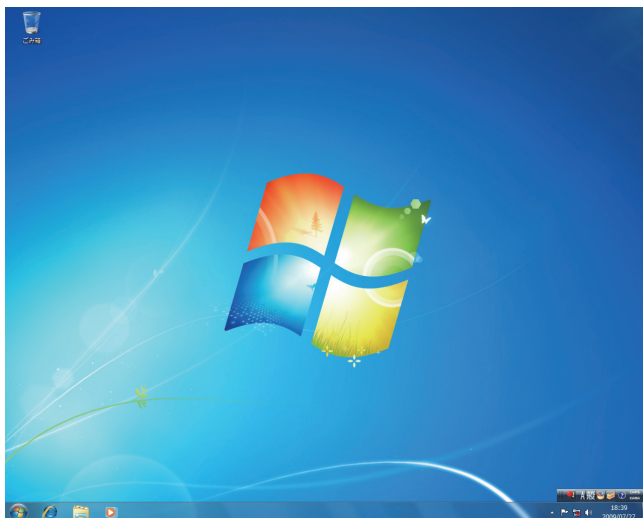
12 「ユーザーアカウントのパスワードを設定します」と表示されたら、パスワード（任意）を入力し、[次へ] をクリックします。

13 「コンピューターの保護と…」と表示されたら、更新の設定をクリックして選択します。

「推奨設定を使用します」を選択することをおすすめします。

14 「日付と時刻の設定を確認します」と表示されたら、「タイムゾーン」が「大阪、札幌、東京」になっていることを確認し、「日付」、「時刻」を設定し、[次へ] をクリックします。

15 ネットワークに接続している場合、「お使いのコンピューターの現在の場所を選択してください」と表示されます。場所をクリックして選択します。

16 Windows のデスクトップ（下記の画面）が表示されたら､「Windows 7 リカバリーDVD」を光ディスクドライブから取り出します。

これで Windows のインストールは完了です。
続いて、本体ドライバーやソフトウェアをインストールします。

p.51「ドライバー / ソフトウェアのインストール」

領域変更を行ったら

Windows のインストール中に領域変更を行った場合は、すべてのインストール作業が終わった後で、「未割り当て領域」に領域（パーティション）を作成します。

p.61「領域の作成」

Windows Vista のインストール

Windows Vista のインストール方法は、次のとおりです。

1 本機の電源を入れ､「Windows Vista リカバリー DVD」を光ディスクドライブにセットします。

「自動再生」画面が表示されたら、 をクリックし、画面を閉じてください。
ここからはインストールを行いません。

2 「スタート」－［▷］－「再起動」をクリックして、本機を再起動します。

3 「EPSON」と表示後、黒い画面に「Press any key to boot from CD or DVD.」と表示されたら、どれかキーを押します。

一定時間内にキーを押さないと、HDD 内の Windows Vista が起動してしまいます。
Windows Vista が起動してしまった場合は、2 へ戻ります。

4 「システム回復オプション」画面が表示されたら、キーボードレイアウトが「日本語」になっていることを確認し、［次へ］をクリックします。

ここで HDD 内の Windows のチェックが行われます。Windows の修復を促す画面が表示された場合は、画面の指示に従って修復を行ってください。

5 「修復するオペレーティングシステムを選択し…」と表示されたら、「Microsoft Windows Vista」が選択された状態で［次へ］をクリックします。

6 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、「Windows の再インストール」をクリックします。

7 「Windows の再インストールを行います。」と表示されたら、［再インストール］をクリックします。

8 「ライセンス条項をお読みください。」と表示されたら、内容を確認し、「条項に同意します」にチェックを付けて、［次へ］をクリックします。

9 「Windows のインストール場所を選択してください。」と表示されたら、「ドライブオプション（詳細）」をクリックします。

場合によって、次のとおり作業を続けます。

領域変更を行わない場合（通常）

❶ 「ディスク 0 パーティション 2」（C ドライブ）が選択された状態で「フォーマット」をクリックします。

❷ 「このパーティションをフォーマットすると…」と表示されたら、［OK］をクリックします。

フォーマットが開始されます。

❸ フォーマットが終了すると、［次へ］がクリックできる状態になります。
「ディスク 0 パーティション 2」（C ドライブ）が選択された状態で［次へ］をクリックします。

Windows Vista のインストールが開始されます。システム構成にもよりますが、インストールは 20 分～ 40 分かかります。

10 の画面が表示されるまでキーボードやタッチパッドは操作しないでください。

領域変更を行う場合

❶「ディスク 0 パーティション 2」（C ドライブ）が選択された状態で「削除」をクリックします。

❷「このパーティションを削除すると…」と表示されたら、［OK］をクリックします。

削除したパーティション（C ドライブ）が「未割り当て領域」となります。

❸ 場合によって、次のとおり作業を続けます。

C ドライブを分割する場合

(1)「ディスク 0 未割り当て領域」を選択し、「新規」をクリックします。

❹ に進みます。

C ドライブの容量を増やす場合

すでに HDD が分割されている場合は、C ドライブ以外のドライブを削除して未割り当ての領域を増やします。ただし、削除したドライブのデータは消えてしまいます。

(1) そのほかのパーティションも C ドライブと同様に削除し、「ディスク 0 未割り当て領域」を増やします。

(2)「ディスク 0 未割り当て領域」を選択し、「新規」をクリックします。

❹ に進みます。

❹ C ドライブのサイズを決めます。サイズを入力し、［適用］をクリックします。

C ドライブには、40GB 程度（40000MB）を割り当てることをおすすめします。

❺「ディスク 0 パーティション 2」（C ドライブ）が選択された状態で、［次へ］をクリックします。

Windows Vista のインストールが開始されます。システム構成にもよりますが、インストールは 20 分～ 40 分かかります。

10 の画面が表示されるまでキーボードやタッチパッドは操作しないでください。

10 **「ユーザー名と画像の選択」と表示されたら、ユーザー名、パスワード（任意）を入力し、画像一覧からお好みの画像をクリックして選択し、［次へ］をクリックします。**

11 **「コンピュータ名を入力して、デスクトップの背景を選択してください。」と表示されたら、コンピューター名を入力し、背景一覧からお好みの背景をクリックして選択し、［次へ］をクリックします。**

12 **「Windows を自動的に保護するよう設定してください」と表示されたら、保護の設定をクリックして選択します。**

「推奨設定を使用します」を選択することをおすすめします。

13 「時刻と日付の設定の確認」と表示されたら、「タイムゾーン」が「大阪、札幌、東京」になっていることを確認し、「日付」、「時刻」を設定し、［次へ］をクリックします。

14 ネットワークに接続している場合、「お使いのコンピュータの現在の場所を選択してください」と表示されます。場所をクリックして選択します。

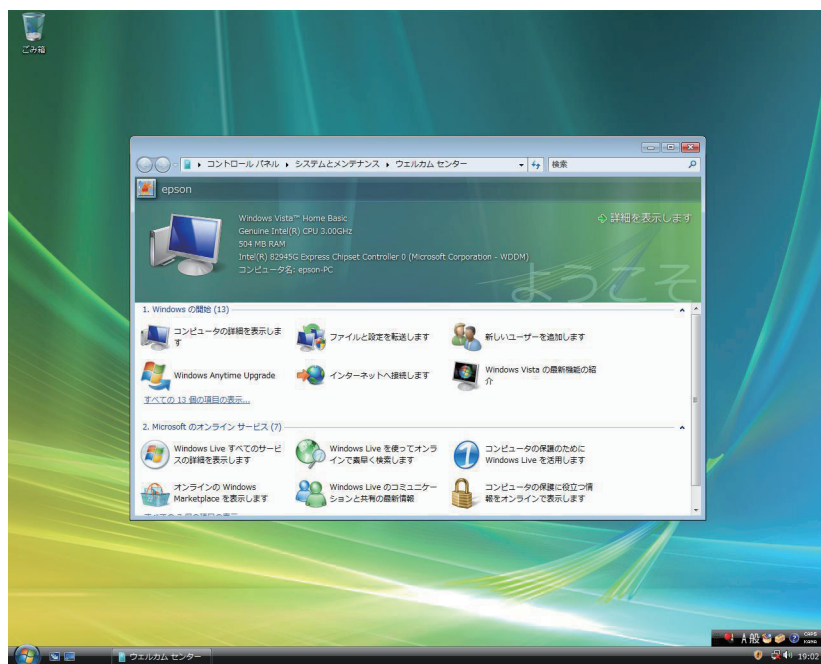
購入時の構成によっては、表示されない場合があります。表示されない場合は、次の手順に進みます。

15 「ありがとうございます」と表示されたら、［開始］をクリックします。

設定が行われます。設定には約 5 分かかります。

16 10 でパスワードを設定した場合は、パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力して、［↵］を押します。

17 Windows Vista のデスクトップ（下記の画面）が表示されたら、「Windows Vista リカバリー DVD」を取り出します。

デスクトップの背景は、11 で選択した背景が表示されます。

これで Windows Vista のインストールは完了です。
続いて、本体ドライバーやソフトウェアをインストールします。
p.51「ドライバー / ソフトウェアのインストール」

参考 **領域変更を行ったら**

Windows のインストール中に領域変更を行った場合は、すべてのインストール作業が終わった後で、「未割り当て領域」に領域（パーティション）を作成します。

p.61「領域の作成」

ドライバー / ソフトウェアのインストール

Windows をインストールしたら、次の順番でソフトウェアやドライバー類をインストールします。

リカバリーツールのインストール

HDD の消去禁止領域に収録されている本体ドライバーやソフトウェアをインストールするためのツール「リカバリーツール」をインストールします。
リカバリーツールのインストール手順は、次のとおりです。

1 **「リカバリーツール CD」を光ディスクドライブにセットします。**

2 **「自動再生」画面が表示されたら、「setup.exe の実行」をクリックします。**

「自動再生」画面が表示されない場合は、[スタート] ー「コンピューター」ー「EPSON_CD」をダブルクリックします。

3 **以降は画面の指示に従ってインストールを行ってください。**

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい（続行)] をクリックします。
インストールが完了すると、デスクトップ上に「リカバリーツール」アイコンが表示されます。

<リカバリーツールアイコン>

4 **「リカバリーツール CD」を光ディスクドライブから取り出します。**

アイコンが正常に表示されない場合は、本機を再起動してください。
これで「リカバリーツール」のインストールは完了です。

本体ドライバーのインストール

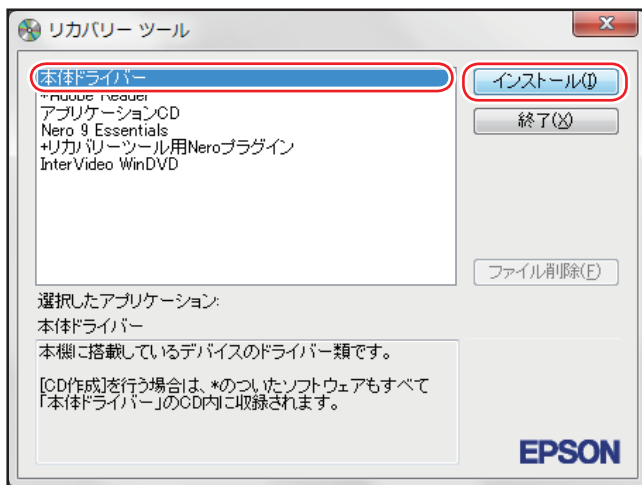
本機のマザーボード上に搭載されているデバイスのドライバー類を、一括してインストールします。インストールの手順は、次のとおりです。

1 **デスクトップ上の「リカバリーツール」アイコンをダブルクリックします。**

2 **「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい（続行)] をクリックします。**

3 **「リカバリーツール」画面が表示されたら、「インストール」をクリックします。**

4 本体ドライバーやソフトウェアの一覧画面が表示されたら、一覧から「本体ドライバー」を選択して［インストール］をクリックします。

5 の画面が表示されるまでには、数分かかります。

＜イメージ＞

5 「ドライバー・ソフトウェアのインストール」画面が表示されたら、一覧から［インストール］をクリックします。

6 「インストール確認」画面が表示されたら、内容をよくお読みになり、[OK］をクリックします。

各ドライバーが自動的にインストールされます。
インストールには数分かかります。

7 「インストールが完了しました。」と表示されたら、[OK］をクリックします。

8 「インストール処理」画面が表示されたら、インストールが正常に完了したかを確認し、[PC 再起動］をクリックします。

9 再起動後に「これらの変更を適用するには・・・」と表示された場合は、[今すぐ再起動する］をクリックします。

Windows が再起動したら、本体ドライバーのインストールは完了です。

リカバリーツールの［ファイル削除］の表示について

リカバリーツールからインストールを行う際、ソフトウェアによっては一時的に HDD にインストール用データをコピーします。「リカバリーツール」画面で［ファイル削除］が黒字で表示されるときは、コピーされた不要なインストール用データが HDD に残っています。［ファイル削除］をクリックしてデータを削除すると、HDD の容量を節約することができます。

Adobe Readerのインストール

「Adobe Reader」は、PDF 形式のファイルを表示したり、印刷したりするためのソフトウェアです。

インストール

Adobe Reader のインストール手順は、次のとおりです。

1 **デスクトップ上の「リカバリーツール」アイコンをダブルクリックします。**

2 **「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい(続行)] をクリックします。**

3 **「リカバリーツール」画面が表示されたら、[インストール] をクリックします。**

4 **本体ドライバーやソフトウェアの一覧画面が表示されたら、一覧から「Adobe Reader」を選択して [インストール] をクリックします。**

5 **「インストール先のフォルダ」と表示されたら、[次へ] をクリックします。**

6 **「プログラムをインストールする準備ができました」と表示されたら、[インストール] をクリックします。**

インストールにはしばらく時間がかかります。

7 **「セットアップ完了」と表示されたら、[完了] をクリックします。**

これで、Adobe Reader のインストールは完了です。
続いて、Adobe Reader のセットアップを行います。

セットアップ

インストールが完了したら、続いてセットアップを行います。Adobe Reader のセットアップ手順は次のとおりです。

1 **デスクトップ上の「Adobe Reader」アイコンをダブルクリックします。**

2 **「使用許諾契約書」が表示されたら、「使用許諾契約書」に同意するかしないかを選択します。**

同意する場合は、[同意する] をクリックします。[同意しない] を選択すると、Adobe Reader は使用できません。

Windows Live Suiteのインストール(Windows 7のみ)

「Windows Live Suite」は、「Windows Live メール」など、複数のソフトウェアを含むパッケージです。
Windows Live Suite のインストール手順は、次のとおりです。

1 **デスクトップ上の「リカバリーツール」アイコンをダブルクリックします。**

2 **「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい]をクリックします。**

3 **「リカバリーツール」画面が表示されたら、[インストール]をクリックします。**

4 **本体ドライバーやソフトウェアの一覧画面が表示されたら、一覧から「アプリケーション CD」を選択して、[インストール]をクリックします。**

5 **「アプリケーションのインストール」画面が表示されたら、「Windows Live Suite」をクリックします。**

6 **「サービス利用規約」と表示されたら、[同意する]をクリックします。**

7 **「インストールする製品を選択してください」と表示されたら、インストールしたい製品にチェックを付けて、[インストール]をクリックします。**

購入時にインストールされている製品は、次のとおりです。

- Windows Live Messenger
- Windows Live メール
- Windows Live フォトギャラリー
- Windows Live ムービーメーカー
- Windows Live Writer
- Microsoft Silverlight

8 **「もう少しで完了です」と表示されたら、[続行]をクリックします。**

9 **「Windows Live へようこそ!」と表示されたら、[閉じる]をクリックします。**

これで、Windows Live Suite のインストールは完了です。

Internet Explorer 8 のインストール(Windows Vistaのみ)

「Internet Explorer 8」は、インターネットのホームページを閲覧するためのソフトウェアです。Internet Explorer 8 のインストール手順は、次のとおりです。

1. デスクトップ上の「リカバリーツール」アイコンをダブルクリックします。

2. 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[続行] をクリックします。

3. 「リカバリーツール」画面が表示されたら、[インストール] をクリックします。

4. 本体ドライバーやソフトウェアの一覧が表示されたら、一覧から「アプリケーション CD」を選択して [インストール] をクリックします。

5. 「アプリケーションのインストール」画面が表示されたら、「Internet Explorer 8」をクリックします。

6. 「Windows Internet Explorer 8 の開始」と表示されたら、[次へ] をクリックします。

7. 「ライセンス条項をお読みください」と表示されたら、内容を確認して [同意する] をクリックします。

8. 「最新の更新を取得」と表示されたら、「更新プログラムのインストール」にチェックが付いた状態で、[次へ] をクリックします。

9. 「Internet Explorer のインストールは完了しました」と表示されたら、[今すぐ再起動する] をクリックします。

   Windows が再起動したら、Internet Explorer 8 のインストールは完了です。

セキュリティーソフトウェアのインストール

本機に添付のセキュリティーソフトウェア「マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版」をインストールします。
市販のセキュリティーソフトウェアなどをインストールする場合は、ソフトウェアのマニュアルをご覧になり、インストールを行ってください。

マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版のインストール

マカフィー･PC セキュリティセンター 90 日期間限定版のインストール方法は､次のとおりです。

1. デスクトップ上の「リカバリーツール」アイコンをダブルクリックします。
2. 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい(続行)]をクリックします。
3. 「リカバリーツール」画面が表示されたら、[インストール]をクリックします。
4. 本体ドライバーやソフトウェアの一覧画面が表示されたら、一覧から「アプリケーション CD」を選択して、[インストール]をクリックします。
5. 「アプリケーションのインストール」画面が表示されたら、「McAfee PC Security Center 90 日版」をクリックします。
6. マカフィーのインストール画面が表示されたら、以降は画面の指示に従ってインストールを行ってください。

参考　**再インストール用データのバージョン**

マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版の再インストール用データは、バージョンが古い可能性があります。ライセンス契約中であれば、オンラインで最新バージョンにアップデートが可能です。

WinDVDのインストール

「WinDVD」は、DVD VIDEO を再生するためのソフトウェアです。
WinDVD のインストール手順は、次のとおりです。

1. デスクトップ上の「リカバリーツール」アイコンをダブルクリックします。
2. 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい(続行)]をクリックします。
3. 「リカバリーツール」画面が表示されたら、[インストール]をクリックします。
4. 本体ドライバーやソフトウェアの一覧画面が表示されたら、一覧から「InterVideo WinDVD …」を選択して[インストール]をクリックします。

5 「WinDVD-InstallShield Wizard」画面が表示された場合は、WinDVD の動作に必要なアプリケーションをインストールします。

6 「WinDVD セットアップへようこそ」と表示されたら、以降は画面の指示に従ってインストールを行ってください。

Nero 9 Essentialsのインストール

書き込み機能のある光ディスクドライブ搭載時

「Nero 9 Essentials」は、光ディスクドライブで書き込みを行うためのソフトウェアです。
Nero 9 Essentials のインストール手順は、次のとおりです。

1 デスクトップ上の「リカバリーツール」アイコンをダブルクリックします。

2 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい（続行)］をクリックします。

3 「リカバリーツール」画面が表示されたら、[インストール］をクリックします。

4 本体ドライバーやソフトウェアの一覧画面が表示されたら、一覧から「Nero 9 Essentials」を選択して[インストール］をクリックします。

5 「Nero MultiInstaller」画面が表示されたら、[Nero 9 Essentials］をクリックします。

6 「Nero 9 Essentials のインストールへようこそ」と表示されたら、以降は画面の指示に従ってインストールを行ってください。

リカバリーツール用 Nero プラグインのインストール

「リカバリーツール用 Nero プラグイン」は、リカバリーツールの CD 作成機能を有効にするためのソフトウェアです。リカバリーツール用 Nero プラグインのインストール方法は、次のとおりです。

1 デスクトップ上の「リカバリーツール」アイコンをダブルクリックします。

2 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい（続行)］をクリックします。

3 「リカバリーツール」画面が表示されたら、[インストール］をクリックします。

4 本体ドライバーやソフトウェアの一覧が表示されたら、一覧から「リカバリーツール用 Nero プラグイン」を選択し、[インストール］をクリックします。

5 「リカバリーツール用 Nero プラグインのインストール」画面が表示されたら、［インストール］をクリックします。

以降は画面の指示に従ってインストールを行ってください。

インストール終了後に、「プログラムの互換アシスタント このプログラムは正しくインストールされなかった可能性があります」と表示される場合があります。この場合は、「このプログラムは正しくインストールされました」を選択してください。

バックアップ CD からのインストール

CD 作成した「Nero 9 Essentials」メディアから、リカバリーツール用 Nero プラグインをインストールする場合は、Plugin フォルダー内の EDCinst を実行してください。

WDLCフォトガジェットのインストール（Windows 7のみ）

「WDLC フォトガジェット」は、デスクトップ上で写真を閲覧・管理するためのソフトウェアです。WDLC フォトガジェットのインストール手順は、次のとおりです。

1 デスクトップ上の「リカバリーツール」アイコンをダブルクリックします。

2 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、［はい］をクリックします。

3 「リカバリーツール」画面が表示されたら、［インストール］をクリックします。

4 本体ドライバーやソフトウェアの一覧画面が表示されたら、一覧から「アプリケーション CD」を選択して、［インストール］をクリックします。

5 「アプリケーションのインストール」画面が表示されたら、「WDLC フォトガジェット」をクリックします。

これで WDLC フォトガジェットのインストールは完了です。

Webフィルタリングソフトウェアのインストール

本機に添付の「i－フィルター 30 日版」をインストールします。i－フィルター 30 日版は、有害サイトをブロックするための Web フィルタリングソフトウェアです。
市販の Web フィルタリングソフトウェアなどをインストールする場合は、ソフトウェアのマニュアルをご覧になり、インストールを行ってください。

i－フィルター 30 日版のインストール

i－フィルター 30 日版のインストール手順は、次のとおりです。

1. **デスクトップ上の「リカバリーツール」アイコンをダブルクリックします。**

2. **「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい（続行)] をクリックします。**

3. **「リカバリーツール」画面が表示されたら、[インストール] をクリックします。**

4. **本体ドライバーやソフトウェアの一覧画面が表示されたら、一覧から「アプリケーション CD」を選択して、[インストール] をクリックします。**

5. **「アプリケーションのインストール」画面が表示されたら、「i－フィルター 30日版」をクリックします。**

6. **「i－フィルター ･･･ インストール」と表示されたら、以降は画面の指示に従ってインストールを行ってください。**
   デスクトップ上に「i－フィルター」アイコンが表示されたら、i－フィルター 30 日版のインストールは完了です。続いて、i－フィルター 30 日版のユーザー登録を行います。

i－フィルター 30 日版のユーザー登録

i－フィルター 30 日版を使用するには、ユーザー登録が必要です。
ユーザー登録はインターネット接続後に行います。
ユーザー登録の方法は、次のとおりです。

1. **デスクトップ上の「i－フィルター」アイコンをダブルクリックします。**
   Windows を再起動した場合は、「i－フィルター・・・」画面が自動的に表示されます。

2. **「i－フィルター ･･･」画面が表示されたら、使用許諾契約書の内容をよくお読みになり、[「i－フィルター」を使ってみる] をクリックします。**

3. **「「i－フィルター」の開始」と表示されたら、以降は画面の指示に従ってユーザー登録を行ってください。**

ATOK無償試用版(30日間)のインストール

ATOK は、日本語変換に優れた、日本語入力システムです。
ATOK 無償試用版（30 日間）は、下記のページからダウンロードしてください。

http://www.atok.com/try/

そのほかのインストール

必要に応じて次のインストールを行ってください。

各種ドライバー

お使いになるシステム構成によって、ドライバーやユーティリティー、ソフトウェアなどのインストールが必要です。
インストールは、オプション機器類に添付されているメディアを使用して行ってください。

インストールが必要なドライバーの例

お使いになるシステム構成によって、次のようなドライバーやユーティリティーが必要になります。

- USB 対応機器を使用する場合：USB 機器に添付のドライバー
- プリンターを使用する場合　：プリンターに添付のドライバー

そのほかのソフトウェア

「Office」など、そのほかに使用するソフトウェアがある場合は、インストールします。
インストール方法はソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

再インストール後の作業

再インストールが完了したら、必要に応じて次の作業を行ってください。

バックアップしたデータの復元

再インストールを行う前にバックアップしたデータを復元します。

●Internet Explorer、Windows（Live）メールの設定

Windows 7 の場合

「PC お役立ちナビ」－［お役立ち］－「カテゴリから選ぶ」－「Windows の操作」－「バックアップ」－「Windows 転送ツールを使う」

Windows Vista の場合

「PC お役立ちナビ」－［トラブル解決］－「Windows の操作」－「バックアップ」－「Windows Vista：バックアップしたファイルや設定を復元する（Windows 転送ツール）」

●そのほか重要なデータ
バックアップ先のメディアなどから元に戻します。

領域の作成

Windows のインストール中に HDD 領域を変更した場合、「未割り当て領域」はそのままでは使用できません。Windows の「ディスクの管理」を使用して、領域の作成を行います。

「PC お役立ちナビ」－［マニュアルびゅーわ］－「ユーザーズマニュアル 補足編」－「HDD 領域（パーティション）の作成手順」

ネットワークの設定

再インストールを行う前に書き写しておいた設定を元に、ネットワークの設定を行います。
Wakeup On LAN を使用する場合は、設定を行います。

「PC お役立ちナビ」－［マニュアルびゅーわ］－「ユーザーズマニュアル 補足編」－「ネットワーク機能（有線 LAN）」－「Wakeup On LAN」

Windowsやソフトウェアをアップデートする

再インストールをすると、今までに行ったWindowsやソフトウェアの更新が元の状態に戻ってしまいます。最新の状態になるよう、アップデートを行ってください。

※ アップデートをするにはインターネットへの接続が必要です。

●Windows

今までに行った「Windows Update」のプログラムがインストールされていない状態に戻ります。Windows Updateを行ってください。

自動更新の設定がされていると、更新プログラムが自動的にダウンロード、インストールされ、最新の状態になります。

「PC お役立ちナビ」－［マニュアルびゅーわ］－「ユーザーズマニュアル 補足編」－「インターネットを使用する際のセキュリティー対策」

●ソフトウェア

アップデート方法は、ソフトウェアのヘルプやマニュアルをご覧ください。

本機に関する情報や最新のドライバーを入手する

当社ユーザーサポートページには、本機の最新ドライバーや使用方法に関する情報が掲載されています。インターネットに接続したら、ユーザーサポートページをご確認ください。

「PC お役立ちナビ」－画面下［ユーザーサポート］

困ったときは

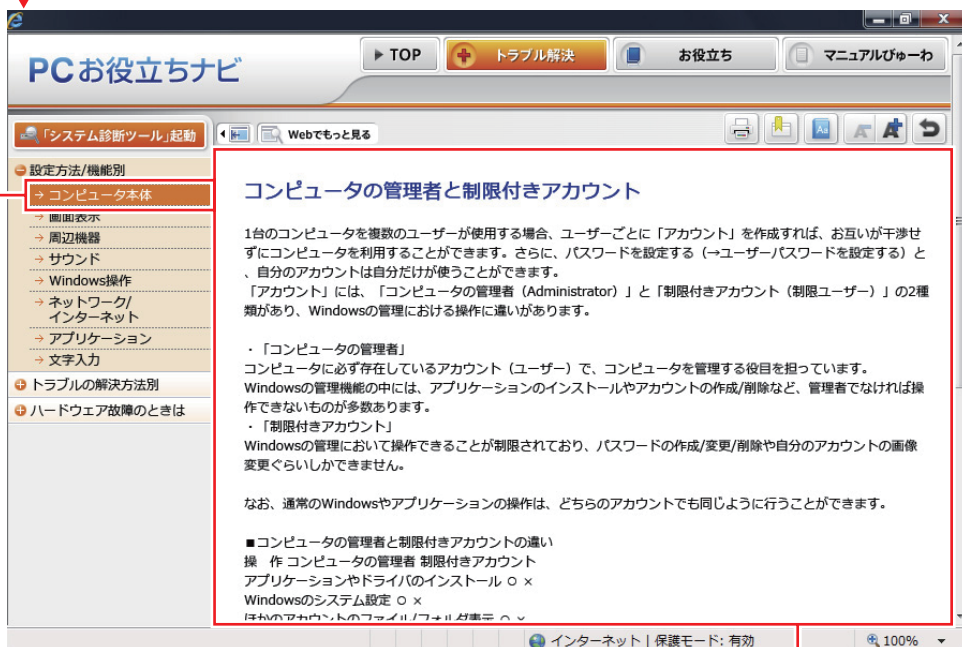
困ったときの確認事項や対処方法などについて説明します。

トラブルが発生したら 64
起動・画面表示できないときは 66
トラブル時に効果的な対処方法 72

トラブルが発生したら

困ったとき、トラブルが発生したときは、次のように対処方法を探してください。

起動・画面表示できる場合…PCお役立ちナビで調べる

コンピューターを起動、画面表示できる場合は、「PC お役立ちナビ」の［トラブル解決］で対処方法を探してください。

システム診断ツール

「PC お役立ちナビ」の［トラブル解決］には、システム診断ツールが搭載されています。

p.80「システム診断ツールを使う」

トラブルシューティングツール（Windows 7 のみ）

Windows 7 にはトラブルシューティングツールを集めたコーナーが用意されています。

［スタート］－「コントロールパネル」－「システムとセキュリティ」－「コンピューターの一般的な問題のトラブルシューティング」

トラブルシューティングツールの一覧が表示されたら、トラブルに応じたツールをクリックして、トラブルシューティングを行ってみてください。

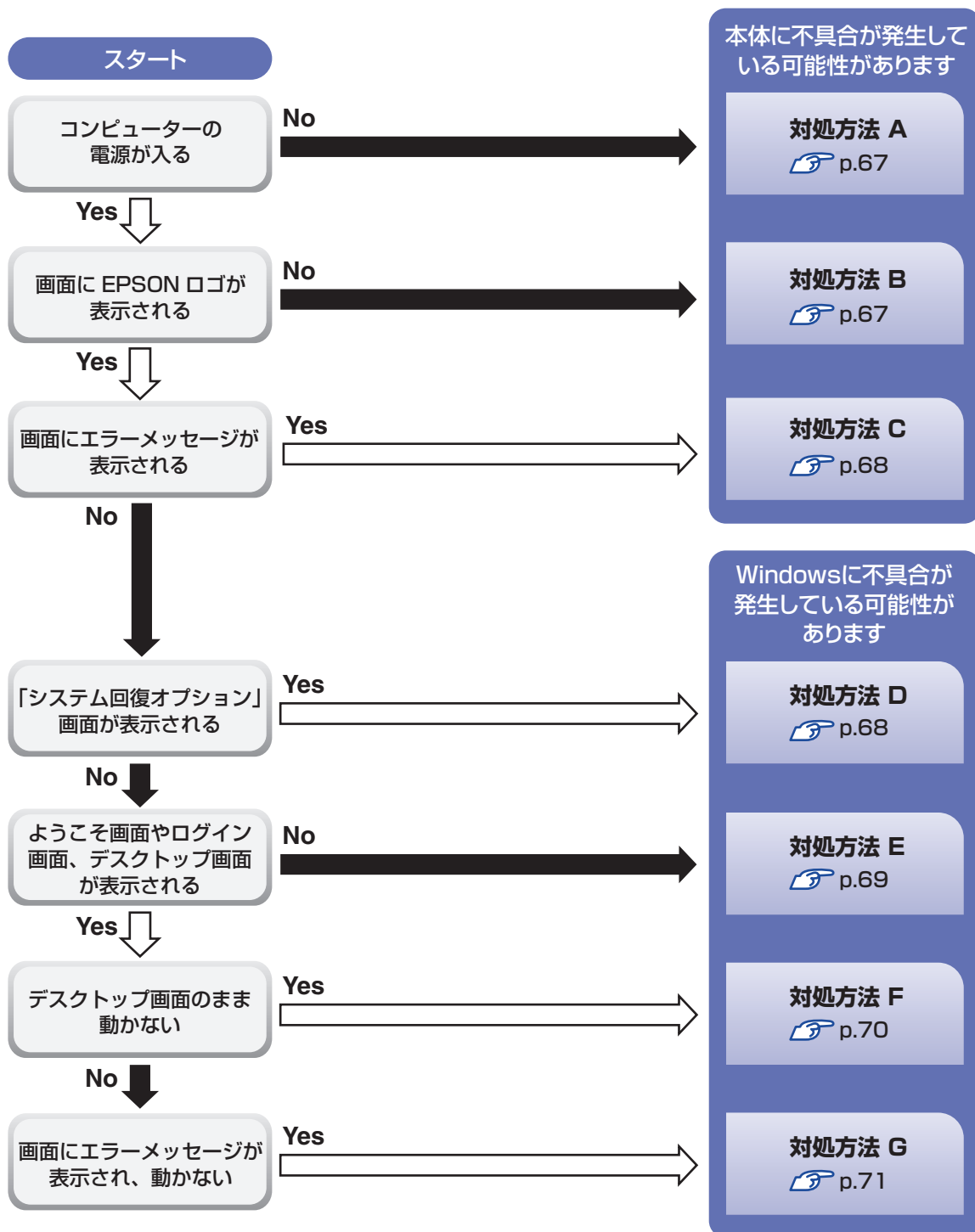
起動・画面表示できない場合

コンピューターを起動、画面表示できない場合は、p.66「起動・画面表示できないときは」をご覧ください。

起動・画面表示できないときは

コンピューターを起動、画面表示できない場合は、診断を行い、各診断結果に応じた対処をしてください。

診断する

次の診断を行ってください。対処方法が決まったら、p.67「対処する」へ進んでください。

対処する

コンピューターを起動、画面表示できないときの対処方法は、次のとおりです。
対処後も不具合が解消しない場合は、別冊『サポート･サービスのご案内』をご覧になり、サポート窓口までお問い合わせください。

対処方法　A

次の対処を順番に行ってみてください。

1 コンピューターの電源を入れなおす

電源を入れなおす場合は、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20 秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。

2 電源コード /AC アダプター / バッテリーパックを接続しなおす

コンピューターへの電源供給に問題がある可能性があります。コンピューターの電源を切ってから、電源コード、AC アダプター、バッテリーパックを外して 1 分程度放置し、再度電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。
バッテリーパックのみで使用している場合は、完全放電している可能性があります。AC アダプターを接続して使用してみてください。

3 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどの周辺機器、メモリーなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

対処方法　B

次の対処を順番に行ってみてください。

1 電源コード /AC アダプター / バッテリーパックを接続しなおす

コンピューターへの電源供給に問題がある可能性があります。コンピューターの電源を切ってから、電源コード、AC アダプター、バッテリーパックを外して 1 分程度放置し、再度電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。
バッテリーパックのみで使用している場合は、完全放電している可能性があります。AC アダプターを接続して使用してみてください。

2 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどの周辺機器、メモリーなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

対処方法　C

まず、次の表をご覧になり、エラーメッセージに応じた対処をしてください。

メッセージ	内容および対処方法
Reboot and Select proper Boot device or Insert Boot Media in selected Boot device and press a key	●ブートデバイスにシステムがない場合は、「BIOS Setup ユーティリティー」－「Boot」メニュー画面－「Boot Option Priorities」で、システムの入ったデバイスを割り付けてください。 ●ブートデバイスにメディアが挿入されていない場合は、システムの入ったメディアをブートデバイスに挿入してください。
CMOS Battery Low	バックアップ用電池の容量が不足して、CMOS RAM の内容を保持できません。テクニカルセンターまでご連絡ください。
CMOS Checksum Bad	CMOS の設定が正しく行われていません。「BIOS Setup ユーティリティー」－「Save & Exit」メニュー画面－「Load Optimal Defaults」を選択してください。
CMOS Date/Time Not Set	日付と時間の設定が正しく行われていません。「BIOS Setup ユーティリティー」－「Main」メニュー画面で日付と時刻の設定をなおしてから「Save & Exit」メニュー画面－「Save Changes and Reset」を選択してください。

あてはまるメッセージがない場合は、次のとおり対処してみてください。

1 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどの周辺機器、メモリーなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

対処方法　D

次のとおり対処してみてください。

1 Windows 回復環境（Windows RE）で不具合対処をする

p.79「「システム回復オプション」画面が表示されたら」

対処方法　E

次の対処を順番に行ってみてください。

1 コンピューターの電源を入れなおす

電源を入れなおす場合は、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20 秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。

2 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどの周辺機器、メモリーなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

3 セーフモードで起動し、システムの復元を行う

必要最低限の状態であるセーフモードで起動してみてください。

p.73「セーフモードでの起動」

セーフモードで起動できた場合は、「システムの復元」機能を使用して以前のコンピューターの状態に戻すことで、問題が解決できる可能性があります。システムの復元を行ってみてください。

p.74「システムの復元」

4 前回正常起動時の構成で起動する

セーフモードで起動できない場合は、前回正常起動時の構成で起動できるかどうかを確認します。

p.75「前回正常起動時の構成で起動する」

5 BIOS の設定を初期値に戻す

BIOS の不整合が原因で問題が発生している可能性があります。BIOS の設定を初期値に戻し、問題が解決されるか確認してください。初期値に戻す前に BIOS の設定をメモしておいてください。

p.76「BIOS の初期化」

6 Windows RE を使う

「Windows 回復環境（Windows RE)」の回復ツールを使用して、Windows を修復してみてください。

p.77「Windows 回復環境（Windows RE）を使う」

7 Windows を再インストールする

HDD 内に記録されている、起動部分のプログラムが破損している可能性があります。
Windows の再インストールを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。

p.38「再インストールの前に」

対処方法　F

次の対処を順番に行ってみてください。

1 コンピューターの電源を入れなおす

電源を入れなおす場合は、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20 秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。

2 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどの周辺機器、メモリーなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

3 セーフモードで起動し、常駐ソフトを停止したり、システムの復元を行う

必要最低限の状態であるセーフモードで起動してみてください。

p.73「セーフモードでの起動」

セーフモードで起動できた場合は、常駐ソフト（システム稼動中、常に稼動しているソフト）を一時的に停止させることで問題が解決するかを確認してください。

p.74「常駐ソフトの停止」

常駐ソフトが原因ではなかった場合は、「システムの復元」を行ってみてください。以前のコンピューターの状態に戻すことで、問題が解決できる可能性があります。

p.74「システムの復元」

4 前回正常起動時の構成で起動する

セーフモードで起動できない場合は、前回正常起動時の構成で起動できるかどうかを確認します。

p.75「前回正常起動時の構成で起動する」

5 Windows RE を使う

「Windows 回復環境（Windows RE)」の回復ツールを使用して、Windows を修復してみてください。

p.77「Windows 回復環境（Windows RE）を使う」

6 Windows を再インストールする

HDD 内に記録されている、起動部分のプログラムが壊れている可能性があります。Windows の再インストールを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。

p.38「再インストールの前に」

対処方法　G

次の対処を順番に行ってみてください。

1 コンピューターの電源を入れなおす

電源を入れなおす場合は、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20 秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。

2 セーフモードで起動し、常駐ソフトを停止したり、システムの復元を行う

必要最低限の状態であるセーフモードで起動してみてください。

p.73「セーフモードでの起動」

セーフモードで起動できた場合は、常駐ソフト（システム稼動中、常に稼動しているソフト）を一時的に停止させることで問題が解決するかを確認してください。

p.74「常駐ソフトの停止」

常駐ソフトが原因ではなかった場合は、「システムの復元」を行ってみてください。以前のコンピューターの状態に戻すことで、問題が解決できる可能性があります。

p.74「システムの復元」

3 Windows RE を使う

「Windows 回復環境（Windows RE）」の回復ツールを使用して、Windows を修復してみてください。

p.77「Windows 回復環境（Windows RE）を使う」

4 Windows を再インストールする

HDD 内に記録されている、起動部分のプログラムが壊れている可能性があります。Windows の再インストールを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。

p.38「再インストールの前に」

トラブル時に効果的な対処方法

トラブル時に効果的な対処方法を紹介します。

機能	こんなときに
再起動 p.72 本機を再起動します。	・使用しているソフトウェアで指示があった場合 ・ソフトウェアや Windows の動作が不安定になったとき
ソフトウェアの強制終了 p.73 ソフトウェアを強制終了します。	・ソフトウェアや Windows が、キーボードやタッチパッドからの入力を受け付けず、何も反応しなくなったとき
セーフモードで起動 p.73 必要最低限の状態で Windows を起動します。	・Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき
常駐ソフトの停止 p.74 不具合のある常駐ソフトを停止します。	・Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき（セーフモードで起動できたとき）
システムの復元 p.74 Windows を以前に作成した復元ポイントの状態に戻します。	・Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき（セーフモードで起動できたとき）
前回正常起動時の構成で起動 p.75 Windows を前回正常起動できた状態に戻します。	・Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき（セーフモードでも起動できないとき）
BIOS の初期化 p.76 BIOS の設定を初期値に戻します。	・BIOS の設定を誤って本機が起動しなくなったとき、動作が不安定になったとき
リチウム電池の交換 p.77 リチウム電池を交換します。	・日時や時間がおかしくなる ・BIOS で設定した値が変わってしまう
Windows 回復環境（Windows RE） p.77 Windows を修復します。	・「システム回復オプション」画面が表示されたとき ・Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき
ソフトウェアの再インストール p.37 本機を購入時の状態に戻します。	・Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき（上記項目の対処をしても起動できないとき） ・HDD の領域を分割したいとき
システム診断ツール p.80 ハードウェアに不具合があるかどうかを診断します。	・不具合の原因がハードウェアにあるかどうかを調べたいとき

再起動

電源が入っている状態で、本機を起動しなおすことを「再起動」と言います。
次のような場合には、本機を再起動する必要があります。

●使用しているソフトウェアで指示があった場合

●Windows の動作が不安定になった場合

本機の再起動方法は、次のとおりです。

1 **[スタート] ー [▷] ー「再起動」をクリックします。**

再起動しても状態が改善されない場合は、本機の電源を切り、しばらくしてから電源を入れてください。

ソフトウェアの強制終了

ソフトウェアやWindowsがキーボードやタッチパッドからの入力を受け付けず、何も反応しなくなった状態を「ハングアップ」と言います。
ハングアップした場合は、ソフトウェアの強制終了を行います。
ソフトウェアの強制終了方法は、次のとおりです。

1 **[Ctrl] + [Alt] + [Delete] を押します。**

2 **表示された項目から「タスクマネージャーの起動」をクリックします。**

「Windows タスクマネージャー」が起動します。

3 **「アプリケーション」タブからハングアップしているソフトウェアを選択して［タスクの終了］をクリックします。**

Windows Vista の場合、「プログラムの終了」画面が表示されたら、［すぐに終了］をクリックします。

強制的に電源を切る

[Ctrl] + [Alt] + [Delete] を押しても反応がない場合は、強制的に本機の電源を切ります。
強制的に本機の電源を切る方法は、次のとおりです。

1 **本機の電源スイッチ（ ⏻ ）を5秒以上押し続けます。**

本機の電源が切れます。

セーフモードでの起動

本機を正常に起動できない場合は、セーフモードで起動してみてください。
セーフモードで起動する方法は、次のとおりです。

1 **本機の電源を切り、20秒程放置してから電源を入れます。**

2 **EPSONと表示され、消えた直後に [F8] を「トン、トン、トン…」と連続的に押します。**

3 **「詳細ブートオプション」画面が表示されたら、[↑] または [↓] を押して「セーフモード」を選択し、[↵] を押します。**

セーフモードで起動できた場合は、不具合に対処してください。

常駐ソフトの停止

セーフモードで起動できた場合は、常駐ソフト（システム稼動中、常に稼動しているソフト）を一時的に停止させることで問題が解決するかを確認してください。
常駐ソフトを停止する手順は次のとおりです。

1 **［スタート］－「検索ボックス」に「msconfig」と入力して、［↵］を押します。**

Windows Vista の場合、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、［続行］をクリックします。

2 **「スタートアップ」タブをクリックし、一覧から問題の原因となっている可能性のある項目（常駐ソフト）のチェックを外し、［OK］をクリックします。**

3 **「再起動が必要な場合があります」というメッセージが表示されたら、［再起動］をクリックします。**

常駐ソフトが原因ではなかった場合、外したチェックは元に戻してください。

システムの復元

本機の動作が不安定になった場合、「システムの復元」を行って Windows を以前の状態（復元ポイントを作成した時点の状態）に戻すことで、問題が解決できることがあります。システムの復元方法は、Windows の種類によって異なります。
Windows Vista の場合は、次をご覧ください。
p.75「Windows Vista の場合」

Windows 7の場合

システムを復元ポイントの状態に戻す方法は次のとおりです。

1 **［スタート］－「すべてのプログラム」－「アクセサリ」－「システムツール」－「システムの復元」を選択します。**

2 **「システムの復元」画面に「推奨される復元」か「別の復元ポイントを選択する」の選択肢が表示された場合は、「推奨される復元」を選択します。**

復元ポイントを自分で指定したい場合は、「別の復元ポイントを選択する」を選択します。

3 **［次へ］をクリックします。**

4 **復元ポイントの一覧が表示された場合は、復元ポイントを選択し、［次へ］をクリックします。**

5 **「復元ポイントの確認」と表示されたら、内容を確認し、［完了］をクリックします。**

6 「いったんシステムの復元を開始したら…」と表示されたら、［はい］をクリックします。

本機が再起動します。

7 再起動後、「システムの復元は正常に完了しました。…」と表示されたら、［閉じる］をクリックします。

これでシステムの復元は完了です。

Windows Vista の場合

システムを復元ポイントの状態に戻す方法は次のとおりです。システムの復元を行う前に、HDD のデータをほかのメディアにバックアップしておくことをおすすめします。

1 ［スタート］－「すべてのプログラム」－「アクセサリ」－「システムツール」－「システムの復元」を選択します。

2 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、［続行］をクリックします。

3 「システムの復元」画面が表示されたら、「推奨される復元」を選択し、［次へ］をクリックします。

復元ポイントを自分で指定したい場合は、「別の復元ポイントを選択する」を選択して［次へ］をクリックし、ポイントを選択して［次へ］をクリックします。

4 「復元ポイントの確認」と表示されたら、内容を確認し、［完了］をクリックします。

5 「システムの復元を開始すると…」と表示されたら、［はい］をクリックします。

本機が再起動します。

6 再起動後、「システムの復元は正常に完了しました。…」と表示されたら、［閉じる］をクリックします。

これでシステムの復元は完了です。

前回正常起動時の構成で起動する

セーフモードで起動できない場合は、前回正常起動時の構成で起動できるかどうかを確認します。

1 本機の電源を入れます。

2 「EPSON」と表示され、消えた直後に F8 を「トン、トン、トン・・・」と連続的に押します。

3 「詳細ブートオプション」画面が表示されたら、↑ または ↓ を押して、「前回正常起動時の構成（詳細）」を選択し、↵ を押します。

BIOSの初期化

「BIOS Setup ユーティリティー」の設定を間違えてしまい、万一、本機の動作が不安定になってしまった場合などには、BIOS Setup ユーティリティーの設定を BIOS の初期値に戻してみてください。
BIOS Setup ユーティリティーの設定を BIOS の初期値に戻す方法は、次のとおりです。
※「Security」メニュー画面にある項目の設定は、初期値に戻りません。

1 **本機の電源を入れます。**

すでに Windows が起動している場合は再起動します。

2 **本機の起動直後、黒い画面の中央に「EPSON」と表示されたら、すぐに F2 を「トン、トン、トン・・・」と連続的に押します。**

Windows が起動してしまった場合は、再起動して 2 をもう一度実行してください。

3 **「BIOS Setup ユーティリティー」が起動して「Main」メニュー画面が表示されます。**

4 **F9 を押す、または「Save & Exit」メニュー画面－「Load Optimal Defaults」を選択すると次のメッセージが表示されます。**

```
Load Optimized Defaults
Load Optimized Defaults?
Yes        No
```

5 **[Yes] を選択して ↵ を押します。**

6 **F10 を押す、または「Save & Exit」メニュー画面－「Save Changes and Reset」を選択すると、次のメッセージが表示されます。**

```
Save & reset
Save configuration and reset?
Yes        No
```

7 **[Yes] を選択して ↵ を押します。**

リチウム電池の交換

「BIOS Setup ユーティリティー」で設定した情報は、マザーボード上のリチウム電池により保持されています。
リチウム電池は消耗品です。コンピューターの使用状況により異なりますが、AC アダプターやバッテリーからの電力供給がまったく無い場合、本機のリチウム電池の寿命は約 5 年です。
日付や時間がおかしくなったり、BIOS で設定した値が変わってしまうことが頻発するような場合には、リチウム電池の寿命が考えられます。別冊『サポート・サービスのご案内』をご覧になり、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。

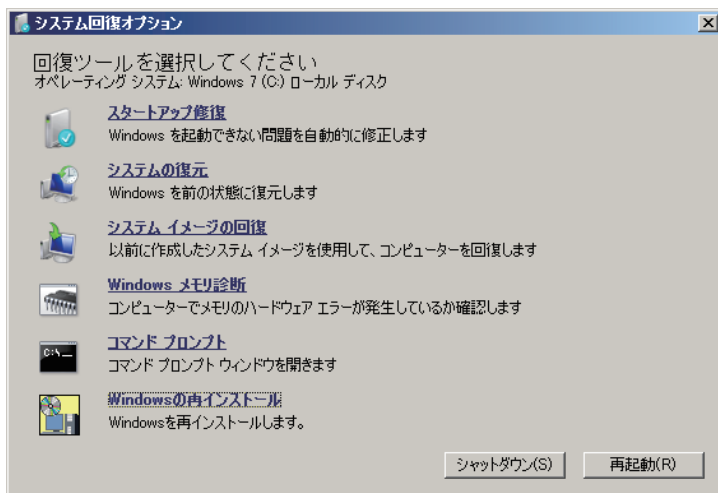
Windows回復環境(Windows RE)を使う

本機の HDD 内と Windows のリカバリー DVD には、「Windows 回復環境（Windows RE)」が設定されています。Windows RE を使用すると、不具合に対処することができます。

Windows RE の項目

Windows の種類によって、項目内容が異なります。
Windows Vista の場合は、p.78 をご覧ください。

Windows 7 の場合

Windows RE には、次の項目があります。

<イメージ>

●スタートアップ修復

Windows を起動できない問題を自動的に修正します。Windows が起動できないときは、まずスタートアップ修復を行ってみてください。問題が解決しない場合は、「システムイメージの回復」を行ってください。

●システムの復元

コンピューターを以前の状態（復元ポイントを作成した時点の状態）に戻します。Windows の動作が不安定な場合に行ってみてください。
p.74「システムの復元」
問題が解決しない場合は、「システムイメージの回復」を行ってください。

●システムイメージの回復

事前にシステムイメージを保存しておいた場合は、Windows やソフトウェアを、システムイメージ保存時の状態まで一度にリカバリーすることができます。

※再インストールと同様、保存されているデータは消去されます。事前にバックアップを行ってください。

システムイメージの回復については、次の場所をご覧ください。

「PC お役立ちナビ」－［お役立ち］－「カテゴリから選ぶ」－「Windows の操作」－「バックアップ」－「システムイメージの作成を使ってバックアップを行う方法」

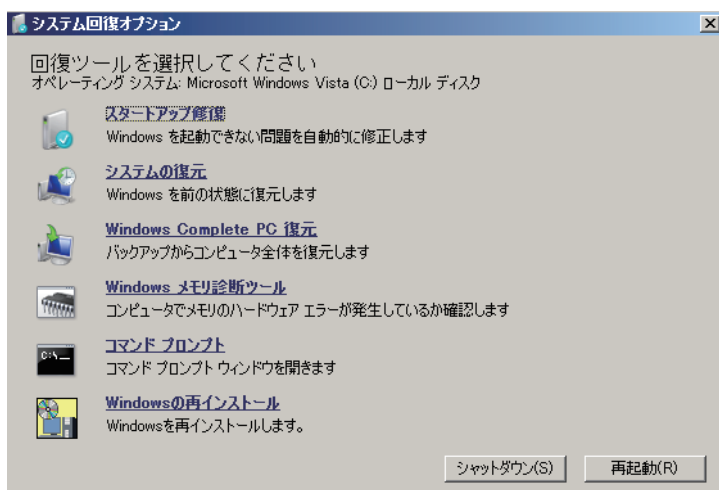
●Windows メモリ診断

メモリーにハードウェアエラーが発生しているかどうかを確認します。

●コマンドプロンプト

コマンドプロンプトウィンドウを開きます。

Windows Vista の場合

Windows RE には、次の項目があります。

＜イメージ（Windows Vista の場合）＞

●スタートアップ修復

Windows を起動できない問題を自動的に修正します。Windows が起動できないときは、まずスタートアップ修復を行ってみてください。

●システムの復元

コンピューターを以前の状態（復元ポイントを作成した時点の状態）に戻します。

●Windows Complete PC 復元

バックアップしてあったデータを使用してコンピューター全体を復元します。

●Windows メモリ診断ツール

メモリーにハードウェアエラーが発生しているかどうかを確認します。

●コマンドプロンプト

コマンドプロンプトウィンドウを開きます。

「システム回復オプション」画面が表示されたら

Windows に不具合が起きると、HDD 内の Windows RE が自動的に起動し、「システム回復オプション」画面が表示されます。
「システム回復オプション」画面が表示されたら、次の手順で Windows RE の項目を表示させ、対処を行います。

1 「システム回復オプション」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。

2 「回復オプションにアクセスするには…」と表示されたら、「ユーザー名」を選択し、パスワードを設定していた場合には「パスワード」にパスワードを入力して [OK] をクリックします。

3 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、実行したい項目をクリックします。以降は、画面の指示に従って作業を行ってください。

p.77「Windows RE の項目」

HDD 内の Windows RE を手動で起動する

HDD 内の Windows RE は、手動で起動することもできます。
手動で起動する方法は、次のとおりです。

1 本機の電源を切り、20 秒程放置してから、電源を入れます。

2 「EPSON」と表示され、消えた直後に F8 を「トン、トン、トン・・・」と連続的に押します。

3 「詳細ブートオプション」画面が表示されたら、「コンピューターの修復」を選択し、↵ を押します。

4 「システム回復オプション」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。

5 「回復オプションにアクセスするには…」と表示されたら、「ユーザー名」を選択し、パスワードを設定していた場合には、「パスワード」にパスワードを入力して、[OK] をクリックします。

6 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、実行したい項目をクリックします。以降は、画面の指示に従って作業を行ってください。

p.77「Windows RE の項目」

DVD の Windows RE を使用する

Windows RE は、本機に添付されている Windows の「リカバリー DVD」にも収録されています。HDD 内に設定されている Windows RE を消去してしまった場合などに使用してください。
DVD に収録されている Windows RE の起動方法は、次のとおりです。

1 **Windows の「リカバリー DVD」を光ディスクドライブにセットして、本機を再起動します。**

2 **「EPSON」と表示後、黒い画面に「Press any key to boot from CD or DVD.」と表示されたら、どれかキーを押します。**

3 **「システム回復オプション」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。**

4 **オペレーティングシステムの一覧が表示されたら、[次へ] をクリックします。**

5 **「回復ツールを選択してください」と表示されたら、実行したい項目をクリックします。以降は、画面の指示に従って作業を行ってください。**

p.77「Windows RE の項目」

システム診断ツールを使う

システム診断ツールを使うと、ハードウェアに不具合が発生しているかどうかを診断することができます。

システム診断ツールの種類

システム診断ツールには、次の 2 種類があります。

- PC お役立ちナビから起動するシステム診断ツール

  PC お役立ちナビからシステム診断を行うことができます。Windows を起動できる場合に使用します。

- CD から起動するシステム診断ツール

  Windows が起動できない場合に、「リカバリーツール CD」からツールを起動してシステム診断を行います。光ディスクドライブの接続が必要です。

システム診断を実行する

Windows を起動できる場合とできない場合で、システム診断の実行方法は異なります。

Windows を起動できる場合

PC お役立ちナビからシステム診断を行います。
実行方法は、次のとおりです。

1 **デスクトップ上の「PC お役立ちナビ」アイコンをダブルクリックします。**

< PC お役立ちナビアイコン>

2 **PC お役立ちナビが起動したら、［トラブル解決］ ー ［システム診断ツール起動］ をクリックします。**

3 **「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、［はい（続行）］ をクリックします。**

4 **システム診断ツールが起動したら、診断したい項目をクリックします。**

該当項目の診断が開始されます。

5 **診断が終了したら、診断結果を確認します。**

「Passed」と表示された場合、ハードウェアは正常に動作しています。
「Failed」と表示された場合は、該当項目に不具合がある可能性があります。
別冊 『サポート･サービスのご案内』をご覧になり､テクニカルセンターまでご連絡ください。

Windows を起動できない場合

「リカバリーツール CD」からシステム診断ツールを起動します。
実行方法は、次のとおりです。

1 **「リカバリーツール CD」を光ディスクドライブにセットして、本機を再起動します。**

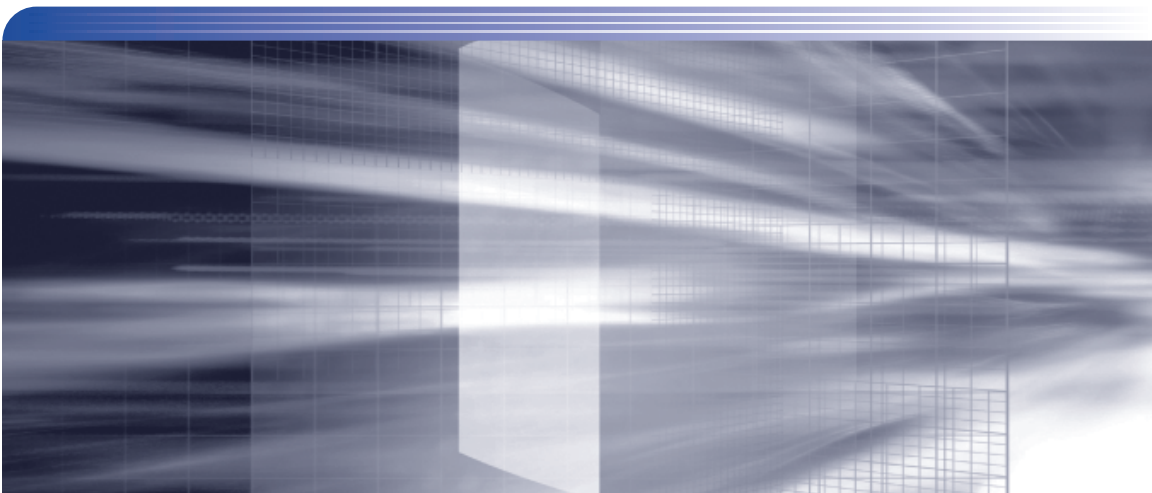
2 **黒い画面の中央に「EPSON」と表示され、消えたあと、「Kernel Loading・・・Press any key to run PC TEST」と表示されたら、どれかキーを押します。**

システム診断ツールが起動し、自動的に診断が開始します。

3 **診断が終了したら、診断結果を確認します。**

「F」が表示された場合は、表示された項目に不具合がある可能性があります。別冊 『サポート・サービスのご案内』をご覧になり、テクニカルセンターまでご連絡ください。

4 **光ディスクドライブから CD を取り出し、電源を切ります。**

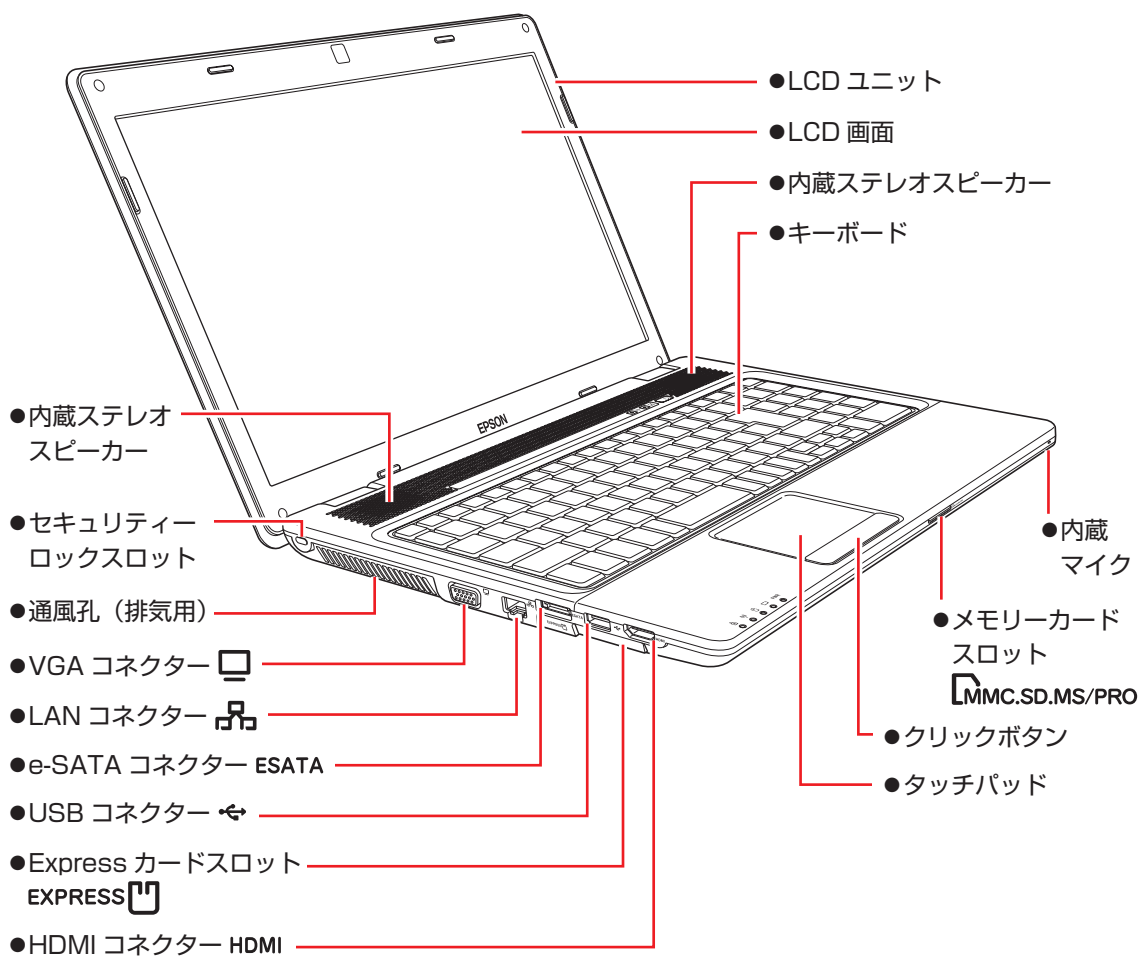
これでシステム診断は完了です。

付録

本機の仕様やマニュアルの表記方法などについて説明します。

各部の名称 84
添付されているソフトウェア 87
機能仕様一覧 90
マニュアルの読み方 92
ユーザーサポートページ 97

各部の名称

正面・左側面

●LCD ユニット
●LCD 画面
●内蔵ステレオスピーカー
●キーボード
●内蔵ステレオ
スピーカー
●セキュリティー
ロックスロット
●通風孔（排気用）
●VGA コネクター
●LAN コネクター
●e-SATA コネクター ESATA
●USB コネクター
●Express カードスロット
EXPRESS
●HDMI コネクター HDMI
●内蔵
マイク
●メモリーカード
スロット
MMC.SD.MS/PRO
●クリックボタン
●タッチパッド
EPSON

電源スイッチ / インスタントキー / ランプ

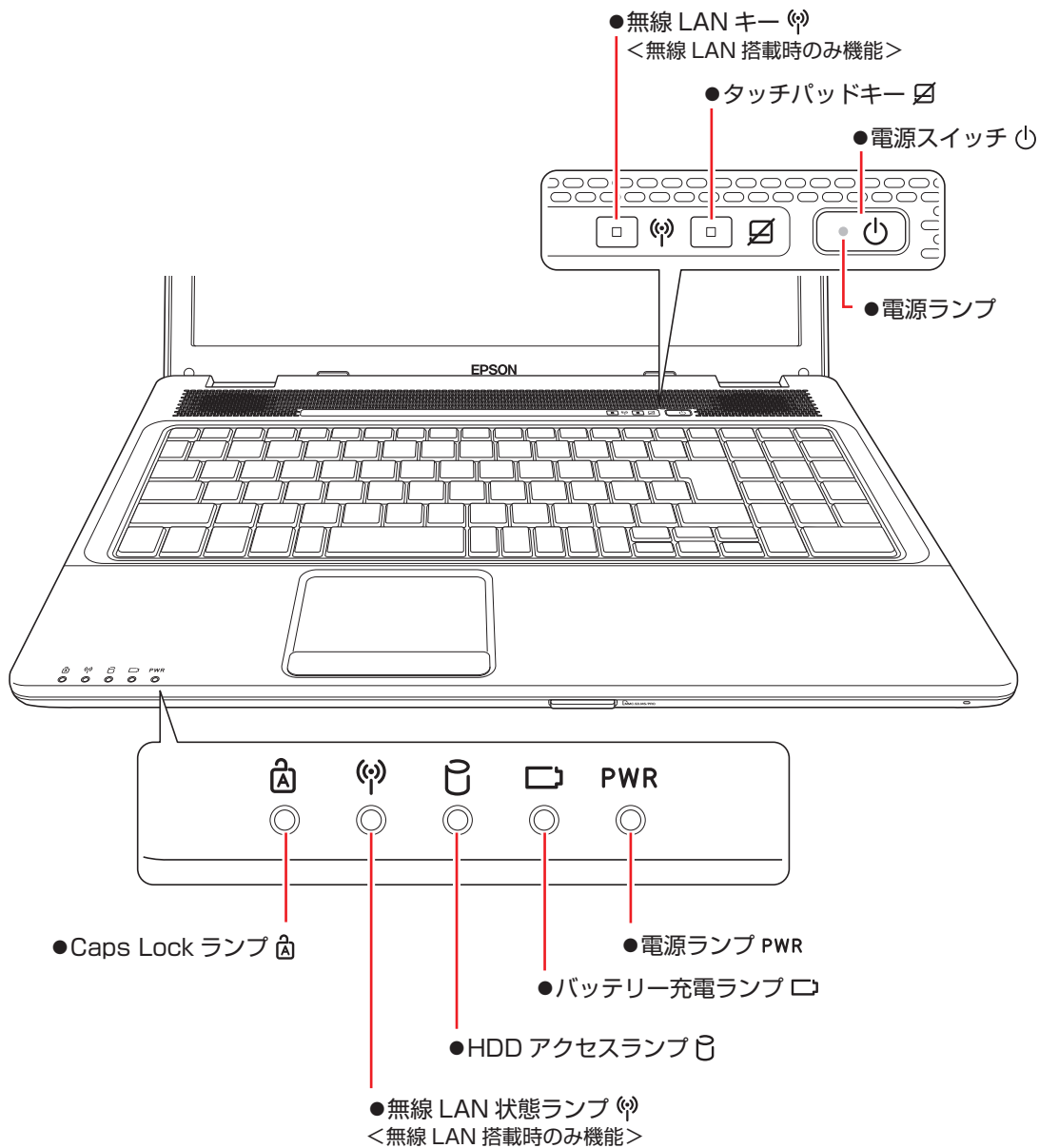
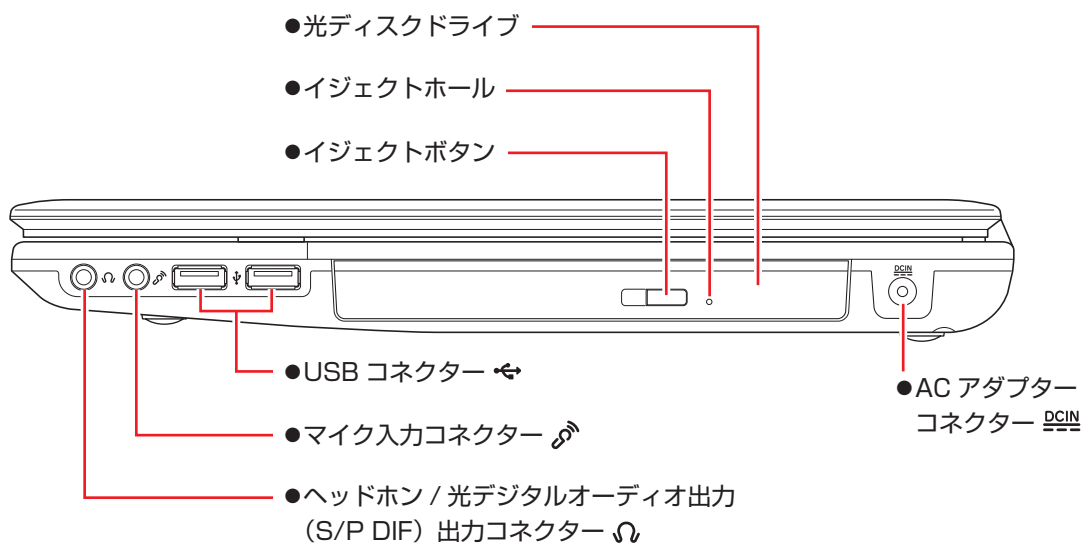
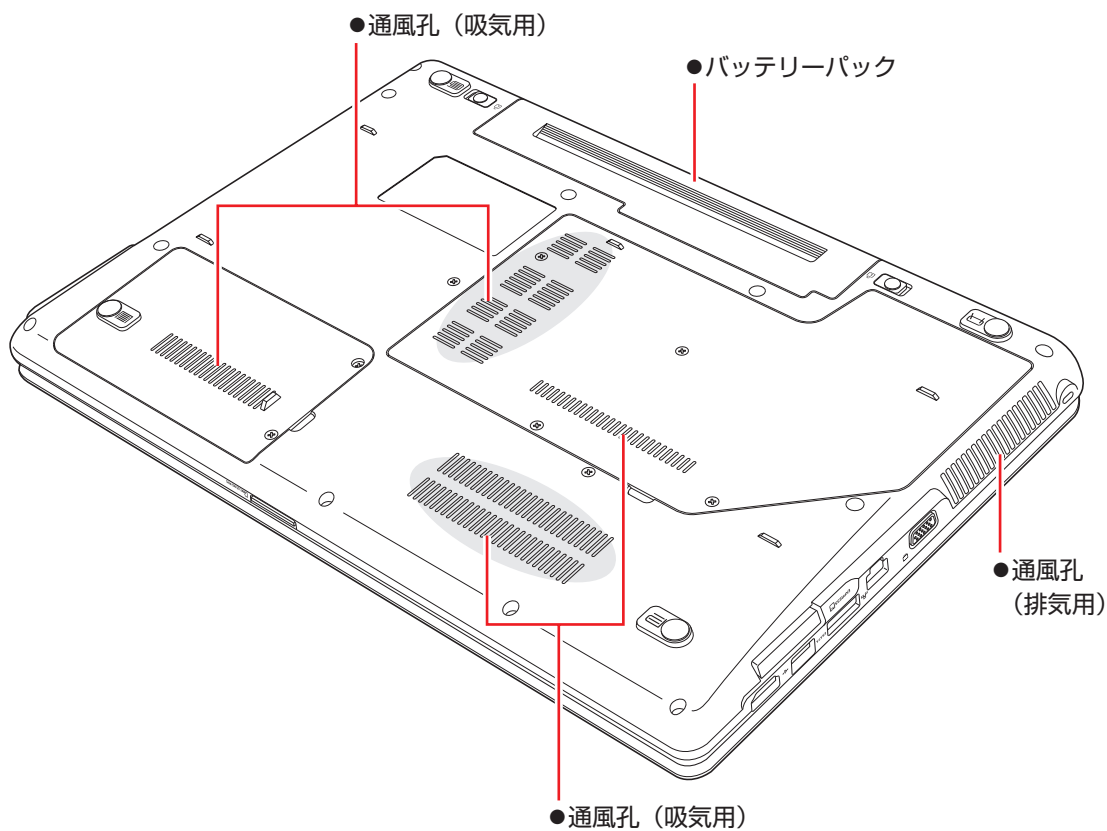
右側面

底面

●通風孔（吸気用）

●バッテリーパック

●通風孔
（排気用）

●通風孔（吸気用）

添付されているソフトウェア

本機に添付されているソフトウェアについて説明します。
添付されているソフトウェアは、Windows の種類や購入時の選択によって異なります。

表中記号の見方

	ソフトウェアは添付の DVD または CD に収録されています。
	ソフトウェアは HDD の「消去禁止領域」に収録されています。この領域を削除すると再インストールができなくなります。「消去禁止領域」は、絶対に削除しないでください。

消去禁止領域に収録されているソフトウェアのバックアップ

書き込み機能のある光ディスクドライブを搭載している場合、HDD の「消去禁止領域」に収録されているソフトウェアを、CD にバックアップすることができます。

「PCお役立ちナビ」－［マニュアルびゅーわ］－「ユーザーズマニュアル 補足編」－「バックアップ CDの作成」

本機にインストールされているソフトウェア

次のソフトウェアは、購入時、本機にインストールされています。

本機にインストールされているソフトウェア	インストール用データの収録場所
●Windows 7 または Windows Vista（種類は購入時の選択による） 本機のオペレーティングシステム（OS）です。	Windows リカバリー DVD
●Windows XP Mode（Windows 7 Ultimate/Professional のみ） Windows 7 上で Windows XP を起動し、Windows XP のアプリケーションを動作させるための機能です。	
●リカバリーツール HDD の消去禁止領域に収録されている本体ドライバーやソフトウェアを再インストールするためのプログラムです。	リカバリーツール CD
●本体ドライバー	消去禁止領域
・チップセットドライバー マザーボード上のデバイスを使用するためのドライバーです。	
・Intel Rapid Storage Technology ドライバー HDD を AHCI モードで動作させるためのドライバーです。	
・Intel Management Engine ドライバー マザーボード上のデバイスを使用するためのドライバーです。	
・ビデオドライバー Windows を高解像度・多色で表示するためのドライバーです。	

本機にインストールされているソフトウェア	インストール用データの収録場所
●本体ドライバー	消去禁止領域
・サウンドドライバー 音を鳴らしたり、録音するためのドライバーです。	
・タッチパッドドライバー タッチパッドを使用するためのドライバーです。	
・ネットワークドライバー ネットワーク機能（有線 LAN）を使用するためのドライバーです。	
・無線 LAN ドライバー（無線 LAN 搭載時のみ） オプションの無線 LAN を使用するためのドライバーです。	
・メモリーカードドライバー メモリーカードスロットを使用するためのドライバーです。	
・インスタントキーユーティリティー インスタントキーを使用するためのユーティリティーです。	
・Java2 Runtime Environment Java アプリケーションを実行するためのソフトウェアです。	
・PC お役立ちナビ コンピューターの情報を簡単に検索できるサポートツールです。 システム診断ツールも含まれています。	
●Adobe Reader PDF（Portable Document Format）形式のファイルを表示したり、印刷したりするためのソフトウェアです。	
●Windows Live Suite（Windows 7 のみ） 「Windows Live メール」など、複数のソフトウェアを含むパッケージです。	
●Internet Explorer 8（Windows Vista のみ） インターネットのホームページを閲覧するためのソフトウェアです。	
●マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版 ウイルス駆除機能、不正アクセス防止機能などを備えたセキュリティーソフトウェアです。危険なサイトへのアクセスを防ぐ Web セーフティーツール「マカフィー・サイトアドバイザプラス」も含まれています。 購入時の選択によっては、インストールされていません。	
●WinDVD DVD VIDEO を再生するためのソフトウェアです。	
●Nero 9 Essentials（書き込み機能のある光ディスクドライブ搭載時） 光ディスクメディアに書き込みを行うためのソフトウェアです。	

必要に応じてインストールするソフトウェア

次のソフトウェアは、購入時、本機にインストールされていません。必要に応じてインストールしてください。

必要に応じてインストールするソフトウェア	インストール用データの収録場所
●i－フィルター 5　30 日版* インターネット上の有害な Web ページへのアクセスを制限する Web フィルタリングソフトウェアです。	消去禁止領域
●WDLC フォトガジェット（Windows 7 のみ） デスクトップ上で写真を閲覧・管理するためのソフトウェアです。Windows 7 Home Premium の場合は、購入時にインストールされています。	消去禁止領域
●ATOK 無償試用版（30 日間）* 日本語変換に優れた、日本語入力システムです。	―

*購入時は、「初期設定ツール」からインストールすることができます。

CD から起動するソフトウェア

次のソフトウェアは、CD から起動して実行します。インストールは必要ありません。

p.80「システム診断ツールを使う」

CD から起動するソフトウェア	ソフトウェアの収録場所
●システム診断ツール コンピューターの調子が悪いときにシステム診断を行うためのツールです。HDD 内のデータを消去することもできます。	リカバリーツール CD

機能仕様一覧

型番		NJ3350E
CPU	プロセッサー	インテル Core i7 プロセッサー、Core i5 プロセッサー、Core i3 プロセッサー、Celeron プロセッサー（種類は購入時の選択による）
	ソケット	Socket G
チップセット		モバイル インテル HM55 Express チップセット
BIOS		AMI BIOS
メイン メモリー	メモリー	PC3-8500（DDR3-1066 SDRAM）使用：Windows 7 32 ビット版および Windows Vista の場合、最大 4GB まで搭載可能（システム上利用できるのは約 3.4GB まで） Windows 7 64 ビット版の場合、最大 8GB まで搭載可能
	スロット	SODIMM スロット（204 ピン）× 2 （同容量 2 枚 1 組で使用の場合、デュアルチャネルで動作）
ビデオ 機能	コントローラー	インテル HD グラフィックス
	メモリー（メインメモリーと共用）	搭載しているメインメモリーの容量および OS により異なる Windows 7 32 ビット版：最大 250 ～ 1562MB Windows 7 64 ビット版：最大 250 ～ 1696MB Windows Vista　　　　：最大 217 ～ 1530MB
	液晶タイプ、液晶表示解像度（最大）	15.6 型 WXGA カラー液晶 1366 × 768 True Color 32 ビット（約 1,677 万色）*1
	外部ディスプレイ表示解像度（最大）*2	1600 × 1200、1920 × 1200（ワイドディスプレイ接続時のみ） True Color 32 ビット（約 1,677 万色）*1
HDD		シリアル ATA2 対応 2.5 型 HDD（容量は購入時の選択による）
光ディスクドライブ		シリアル ATA 対応 スリム光ディスクドライブ（種類は購入時の選択による）
サウンド機能		インテル ハイ・デフィニション・オーディオ対応 Realtek 製 ALC269-VB コントローラー、ステレオスピーカー（出力 2.0W × 2）、モノラルマイク
ネットワーク機能		1000Base-T/100Base-TX/10Base-T 対応 Atheros 製 AR8131 コントローラー
キーボード		日本語対応 104 キー（10 キー付き）
ポインティングデバイス		タッチパッド
インタフェース	USB	3（右側面× 2、左側面× 1）：USB2.0
	eSATA	1：7 ピン
	LAN	1：RJ-45
	サウンド	マイク入力× 1、ヘッドホン出力および S/P DIF × 1
	ディスプレイ	VGA ミニ D-SUB 15 ピン× 1、HDMI 19 ピン× 1（オプションの HDMI-DVI 変換アダプター使用で、HDMI をデジタル DVI-D 24 ピンに変換）
メモリーカードスロット*3		1:SD メモリーカード（SDHC 対応）、マルチメディアカード（Plus 対応）、メモリースティック（PRO 対応）
Express カードスロット		1：ExpressCard/34 スロット
電源	AC アダプター*4（ADP-65JH）	入力：AC100V ～ 240V ± 10%（50/60Hz）、1.5A 出力：DC19V、3.42A、65W　質量：約 320g（電源コード含む）
	標準バッテリー（BT3206-B）	容量：4400mAh リチウムイオン 10.8V 駆動時間*5：約 4.6 時間（Core i シリーズ搭載時）、約 4.2 時間（Celeron 搭載時）
外形寸法		本体：378（幅）× 253（奥行）× 37.5（高さ）mm
質量		本体：約 2.6kg
消費電力（AC 側）		最大定格出力時（理論値）：76.5W
動作環境		動作温度：10 ～ 35℃、動作湿度：20 ～ 80%（ただし、結露しないこと）

*1 ビデオコントローラーのディザリング機能により実現。
*2 本機搭載のビデオコントローラー出力解像度（実際の表示は接続するディスプレイの仕様による）。
*3 SD メモリーカード、メモリースティックの著作権保護機能、またメモリースティックおよびメモリースティック PRO の高速転送、セキュリティー機能には非対応。
*4 標準添付の電源コードは、AC100V 用（日本仕様）。本製品は国内専用のため、海外での使用は保証対象外。
*5 動作時間は JEITA 測定方法 Ver1.0 に基づく測定値（システム構成や使用環境により異なる）。

無線LAN*1（オプション）

●IEEE802.11a/b/g/n

準拠規格	IEEE802.11a/n 無線LAN標準プロトコル、ARIB STD-T71 IEEE802.11b/g/n 無線LAN標準プロトコル、ARIB STD-T66
データ転送速度（規格値）*2	IEEE802.11a/g：54Mbps、IEEE802.11b：11Mbps、 IEEE802.11n　：300Mbps
変調方式	DS-SS方式、OFDM方式
伝送距離（理論値）	IEEE802.11a（54Mbps）：12m、IEEE802.11b（11Mbps）：40m、 IEEE802.11g（54Mbps）：25m 屋内におけるアクセスポイントとの通信時*3
セキュリティー*4	IEEE802.11a/b/g：128/64bit WEP、WPA、WPA2、IEEE802.1x認証に対応 IEEE802.11n　：WPA、WPA2（AESのみ）、IEEE802.1x認証に対応
使用無線チャンネル	IEEE802.11a /n　：36/40/44/48ch（W52）、52/56/60/64ch（W53）、 100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch（W56） IEEE802.11b/g/n：1～13ch

*1 本機には、電波法の規定により、工事設計認証を取得した無線設備を内蔵しています。
認証製品名：622ANHMW
認証番号　：003WWA090733、003XWA090734、003YWA090735

*2 無線LAN規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

*3 実際の通信距離は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーション、Windowsなどの使用条件によって短くなります。

*4 IEEE802.1xについて、Windows Server 2003とのIEEE802.1x Radius Server（EAP-TLS対応認証サーバー）＋WPA（TKIP）の組み合わせによる認証において動作を確認しています。すべての環境下での動作を保証するものではありません。

電波に関するご注意

本機には認証を取得した無線設備が内蔵されており、5GHz（802.11a/n）または2.4GHz（802.11b/g/n）の周波数帯を使用します。

- 本機の無線設備は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局として技術基準適合証明を受けているため、本機を分解／改造しないでください。なお、日本国内でのみ使用できます。
- 5GHz（W52、W53）の周波数帯は、電波法の規定により屋外では使用できません。
- 2.4GHzの周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と称す）が運用されています。
  （1）本機の無線設備をご使用になる前に、近くで「他の無線局」が使用されていないことを確認してください
  （2）万一、本機の無線設備と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所または使用無線チャンネルを変えるか、運用（電波の発射）を停止してください。
  （3）電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことがおきたときには、別冊『サポート・サービスのご案内』をご覧になり、テクニカルセンターまでお問い合わせください。

2.4 DS/OF 4

本機の無線設備は2.4GHz帯を使用します。
変調方式としてDS-SSおよびOFDM方式を採用しており、与干渉距離は40mです。

マニュアルの読み方

本製品の仕様とカスタマイズ

本製品は、ご購入時にお客様が選択されたオプションによって、仕様がカスタマイズされています。CPU の種類･メモリー容量など､選択された仕様に合わせて､お客様オリジナルのコンピューターとして組み立て、納品されています。

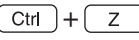
仕様によって必要なマニュアル

本製品の操作に必要なマニュアルは、お客様が選択された仕様によって、『ユーザーズマニュアル』（本書）とは別に提供されている場合があります。
お使いになる仕様によって必要となるマニュアルは、下記のとおり別冊や電子マニュアルなどの形式で提供されていますので、ご確認ください。

- ●本製品に同梱されている別冊マニュアル
- ●CD-ROM などに収録されている電子マニュアル
- ●「PC お役立ちナビ」－［マニュアルびゅーわ］に収録されている電子マニュアル

マニュアル中の表記

安全に関する記号

本書では次のような記号を使用しています。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する記号

本書では、次のような一般情報に関する記号を使用しています。

制限	制限事項です。 機能または操作上の制限事項を記載しています。
参考	参考事項です。 覚えておくと便利なことを記載しています。
1 2	操作手順です。 ある目的の作業を行うために、番号に従って操作します。

▮▮▮▮➤	手順が次ページに続くことを示します。
Ctrl	[　] で囲んだマークはキーボード上のキーを表します。 [↵] は Enter キーを表します。また、[N] は [N み] のことです。このように必要な部分のみを記載しているため、キートップに印字された文字とは異なる場合があります。
Ctrl + Z	＋の前のキーを押したまま＋の後のキーを押します。 この例では、[Ctrl] を押したまま [Z] を押します。

参照先に関する記号

本書では、次のような参照先に関する記号を使用しています。

☞	本書内の参照ページを示します。
別冊	別冊子を示します。
『　』	冊子の名称を示します。 例）『サポート・サービスのご案内』
	サポートツール「PC お役立ちナビ」を示します。

名称の表記

本書では、本機で使用する製品の名称を次のように表記しています。

HDD	ハードディスクドライブ
FD	フロッピーディスク
FDD	フロッピーディスクドライブ
光ディスクメディア	CD メディア、DVD メディア、Blu-ray Disc メディアなど
光ディスクドライブ	光ディスクメディアを使用するためのドライブの総称
メモリーカード	メモリースティック、マルチメディアカード、SD メモリーカードの総称

オペレーティングシステム（OS）に関する表記

本書では、オペレーティングシステム（OS）の名称を次のように略して表記します。

Windows 7 32 ビット版	Windows® 7 Ultimate 32 ビット版 Windows® 7 Professional 32 ビット版 Windows® 7 Home Premium 32 ビット版
Windows 7 64 ビット版	Windows® 7 Ultimate 64 ビット版 Windows® 7 Professional 64 ビット版 Windows® 7 Home Premium 64 ビット版
Windows Vista	Windows Vista® Business

HDD 容量の記載

本書では、HDD 容量を 1GB（ギガバイト）=1000MB として記載しています。

メモリー容量の記載

本書では、メモリー容量を 1GB（ギガバイト）=1024MB として記載しています。

Windows の画面表示に関する記載方法

※ 本書では、明記しない限り、主に Windows 7 の画面表示を使用しています。

デスクトップ画面

本書では、Windows の画面に表示される各箇所の名称を次のように記載します。

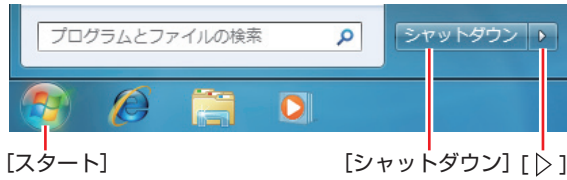
ボタン

ボタンは［　］で囲んで記載しています。

例） OK ：[OK]

スタートメニュー

［スタート］を押すと表示されるスタートメニューのボタン類は、次のように記載しています。

Windows 7 の場合

Windows Vista の場合

画面操作

本書では、Windows の画面上で行う操作手順を次のように記載します。

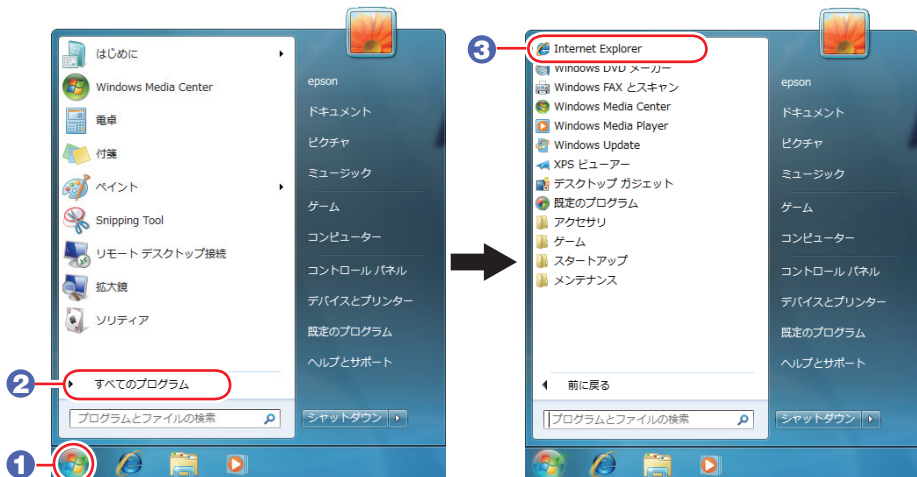
●記載例

［スタート］－「すべてのプログラム」－「Internet Explorer」をクリックします。

●実際の操作

❶ ［スタート］をクリックします。

❷ 表示されたメニューから「すべてのプログラム」をクリックします。

❸ 表示されたメニューから「Internet Explorer」をクリックします。

※表示される項目は、システム構成によって異なります。

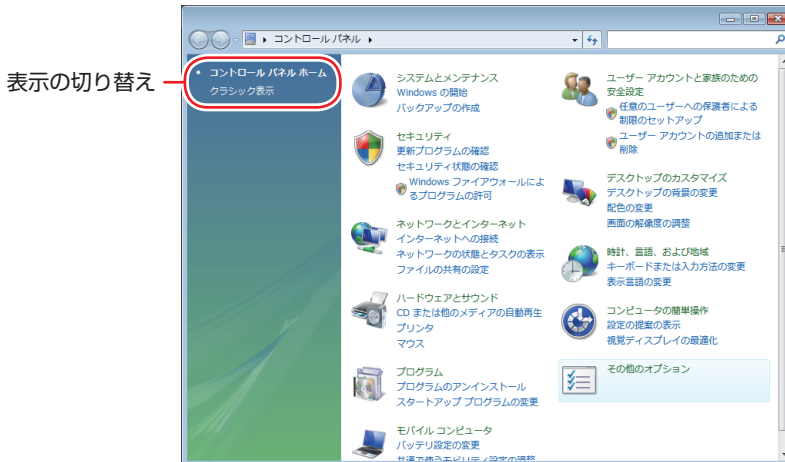
コントロールパネル

Windows 7 の場合

本書では、コントロールパネルの表示が、「カテゴリ」であることを前提に記載しています。

＜表示方法：カテゴリ＞

Windows Vista の場合

本書では、コントロールパネルの表示が、「コントロールパネルホーム」形式であることを前提に記載しています。

＜コントロールパネルホーム＞

ユーザーサポートページ

当社では、コンピューターを安心してお使いいただけるよう、ホームページ上で各種サポート情報を提供しています。

http://www.epsondirect.co.jp/support/

※「エプソンダイレクトサポート」で検索も可

＜画面はイメージです＞

FAQ Search

お使いのコンピューターの型番 /OS、製造番号から、トラブル解決方法や製品仕様などを検索できます。豊富に情報を掲載しておりますので、お困りの際、まずはこちらをご覧ください。

FAQ ランキング

製品ごとに参照される機会の多い FAQ を、各「質問カテゴリー」でトップ 10 表示します。

ソフトウェアダウンロード

最新の BIOS やドライバー、ユーザーズマニュアルなどをダウンロードすることができます。

Web 修理受付

Web フォームから、簡単に修理をお申し込みいただけます。

使用限定について

本製品は、OA 機器として使用されることを目的に開発・製造されたものです。
本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全性維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮頂いた上で本製品をご使用ください。
本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、生命維持に関わる医療機器、24 時間稼動システムなど極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用は意図しておりませんので、これらの用途にはご使用にならないでください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品は日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売しております。したがって、本製品の修理・保守サービスおよび不具合などの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないこともあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬時電圧低下について

本装置は、社団法人　日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

有寿命部品について

当社のコンピューターには、有寿命部品（液晶ディスプレイ、ハードディスク、冷却用ファンなど）が含まれています。有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や条件により異なりますが、本製品を通常使用した場合、1 日約 8 時間、1 ヶ月で 25 日間のご使用で約 5 年です。
上記目安はあくまで目安であって、故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。
なお、長時間連続使用など、ご使用状態によっては早期にあるいは製品の保証期間内であっても、部品交換（有料）が必要となります。
* LCD ユニットを最大輝度で常時使用した場合の寿命は、10000 時間です。

JIS C 61000-3-2 適合品

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。
電源の入力波形は、正弦波のみをサポートしています。

パソコン回収について

当社では、不要になったパソコンの回収・再資源化を行っています。
PC リサイクルマーク付きの当社製パソコンおよびディスプレイは、ご家庭から廃棄する場合、無償で回収・再資源化いたします。
パソコン回収の詳細は下記ホームページをご覧ください。

http://shop.epson.jp/pcrecycle/

著作権保護法について

あなたがビデオなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。
テレビ・ラジオ・インターネット放送や市販の CD・DVD・ビデオなどで取得できる映像や音声は、著作物として著作権法により保護されています。個人で楽しむ場合に限り、これらに含まれる映像や音声を録画または録音することができますが、他人の著作物を収録した複製物を譲渡したり、他人の著作物をインターネットのホームページなどに掲載（改編して掲載する場合も含む）するなど、私的範囲を超えて配布・配信する場合は、事前に著作権者（放送事業者や実演家などの隣接権者を含む）の許諾を得る必要があります。著作権者に無断でこれらの行為を行うと著作権法に違反します。
また、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容および製品の仕様について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容は万全を期して作成いたしましたが、万一誤り・お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、3 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Media、Windows Live、Internet Explorer、Hotmail、Silverlight、MSN、Outlook は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Core、Celeron は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- McAfee およびマカフィーは、米国法人 McAfee,Inc. またはその関連会社の米国またはその他の国における商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- Memory Stick、マジックゲート、Memory Stick のロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- Multi Media Card™ は、ドイツ Infineon Technologies AG 社の商標です。
- SD ロゴは商標です。
- SmartMedia™、及びそのロゴは、株式会社　東芝の商標です。

そのほかの社名、製品名は、一般にそれぞれの会社の商標または登録商標です。